

令和6年4月14日

生徒並びに保護者・保証人の皆様

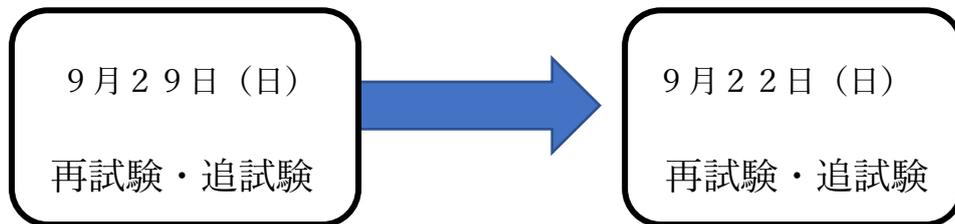
愛知県立旭陵高等学校

校長 林 直紀

令和6年度年間行事予定の変更について

1. 日時および内容

(1) 前期の再試験・追試験について



使用する施設の関係から前期の再試験・追試験の日程を上記のように変更いたします。必要な調整を行っていただきますよう、お願いいたします。

それに伴い、9月29日(日)は休業日となります。

(2) 補充面接指導について

5月12日の補充(体育)は「中止」いたします。

担 当 教頭 石川央

連絡先 052-721-5371

令和6年度(2024年4月-2024年9月) 旭陵高等学校 年間行事予定表(変更)

4月	5月	6月	7月	8月	9月
1 月	1 水	1 土	1 月	1 木	1 日 X試験
2 火	2 木	2 日	2 火	2 金	2 月
3 水 在校生手続日	3 金 憲法記念日	3 月	3 水 学習進度表送付	3 土	3 火
4 木 在校生手続日	4 土 みどりの日	4 火	4 木	4 日	4 水
5 金 在校生手続日	5 日 Y1 離任式 こどもの日	5 水	5 金	5 月	5 木
6 土	6 月	6 木	6 土	6 火	6 金
7 日 在校生出校日 科検診	7 火 z1	7 金	7 日 Y4 生活体験発表会	7 水	7 土 中部生活体験発表会
8 月	8 水	8 土	8 月	8 木	8 日 Y試験
9 火	9 木	9 日 X3 4年進路説明会 学習進度表配布	9 火 z4 進路レポート締切日	9 金 受験資格連絡 学習進度表送付	9 月
10 水 入学生手続日	10 金	10 月	10 水	10 土	10 火
11 木 入学生手続日	11 土	11 火	11 木	11 日 山の日	11 水
12 金 入学生手続日	12 日	12 水	12 金	12 月	12 木
13 土	13 月 保護者個別懇談会(1年)	13 木	13 土 林間学校	13 火	13 金
14 日 入学式	14 火 保護者個別懇談会(1年)	14 金	14 日 林間学校	14 水	14 土
15 月	15 水 保護者個別懇談会(2-3年)	15 土	15 月 海の日	15 木	15 日 予備日
16 火	16 木 保護者個別懇談会(4年)	16 日 Y3 進路学習会	16 火	16 金	16 月 敬老の日
17 水	17 金	17 月	17 水	17 土	17 火
18 木	18 土	18 火 z3	18 木	18 日	18 水
19 金	19 日 X2	19 水	19 金	19 月	19 木
20 土	20 月	20 木	20 土	20 火	20 金
21 日 オリエンテーション・内科検診・ 1年X線 心電図	21 火	21 金	21 日	21 水	21 土
22 月	22 水	22 土	22 月	22 木	22 日 秋分の日 再試・追試
23 火 高認説明会(第1回)	23 木	23 日	23 火 前期再提出レポート 締切日・予備日	23 金	23 月 修学旅行
24 水	24 金	24 月	24 水	24 土	24 火 修学旅行
25 木	25 土	25 火	25 木	25 日 部活	25 水
26 金	26 日 Y2 生徒総会	26 水	26 金 高認説明会(第2回)	26 月	26 木
27 土	27 月	27 木	27 土	27 火	27 金
28 日 X1	28 火 z2	28 金	28 日 予備日	28 水	28 土
29 月 昭和の日	29 水	29 土	29 月	29 木 生徒連絡日	29 日
30 火	30 木	30 日 X4 防災訓練	30 火	30 金	30 月
・春期休業(~5日)	31 金	・検尿(二次) ・保護者会理事会・総会	31 水 ・夏季休業(18日~) ・一日看護体験 ハロワークジョブ キャンパス	31 土 ・閉庁期間(12日~16日) ・夏季休業(~28日)	

補充(体育)は
中止です

再試・追試はココ
に移動します

この日は休み
です

愛知県教育委員会認可通信教育

2024年度
(令和6年度)

生徒便覧



愛知県立旭陵高等学校

〒461-8654 名古屋市東区出来町三丁目6の23

電話 〈052〉721-5371

ホームページ <https://kyokuryo-h.aichi-c.ed.jp/cms/>



目 次

1	諸手続	2
2	学校への連絡方法	3
3	特別警報や暴風警報が発表されている場合	3
4	「単位制」「通信制」について	4
5	オリエンテーション	5・6・7・8・9
6	遅滞レポート締切日の失敗事例集	10・11
7	教育課程	34・35
第一章 入学から卒業まで		
1	入学から卒業までのあらまし	13・14
2	特科生と併修生	15
3	高等学校卒業程度認定試験(高認)の科目合格による単位認定	16
4	技能審査の成果の単位認定	17
5	学校外における学修の成果の単位認定	17
第二章 学習		
1	受講登録から学習開始まで	18
2	自宅での学習	19
3	添削指導(レポート)	19・20・21
4	放送視聴	21・22
5	面接指導(スクーリング)	23・24・25
X	面接指導日の時間割・出席の記録	26
Y	面接指導日の時間割・出席の記録	27
z	面接指導日の時間割・出席の記録	28
	補充として利用できる放送番組・補充面接指導の時間割	29・30
6	試験	30・31
	年間行事予定表	32・33
	各科目の学習状況・特別活動の出席の記録	36
	学習計画表	37・38
第三章 進路について		
1	進路相談	39
2	証明書の発行について	39
3	進学について	39・40
4	就職について	40・41
第四章 特別活動と学校生活		
1	特別活動	42・43
2	学校生活における諸注意	44・45
3	学校行事	46
4	日本スポーツ振興センター及びPTA 連合会見舞金の利用	47
5	生徒会	48・49・50・51・52
6	特別警報発表時の対応について	53・54
第五章 修学支援・施設の利用・同窓会・その他		
1	修学支援	55・56
2	施設の利用	56・57・58
3	同窓会	59
	校舎配置図	60・61・62・63
	本校の沿革	64

自 己 学 ぶ

生 徒 心 得

本校の教育活動は、通信制課程での学習を通じて粘り強く取り組むことの大切さを学ぶとともに、行事などを通じて豊かな心を育み、一人一人の成長に資することを目標としています。

本校で学ぶことに誇りと自信を持ち、すべての活動が自らの輝かしい将来を切り拓く糧となるよう、以下の心得を大切にして、充実した高校生活を実現させましょう。

① ルールやマナーの順守

常に旭陵生として、また良識ある社会人としての自覚を持ち、校内外を問わず、ルールやマナーを順守した言動を心がけましょう。

② 目標を定めた計画的な学びの実践

通信制課程における学習方法を十分に理解したうえで、各自の状況に応じた目標を定め、計画的に学習に取り組みましょう。

③ 良好な人間関係の構築

より良い人間関係を築くために、他者の意見や考えを理解し認め合う努力をするとともに、学校行事や校外活動にも積極的に参加しましょう。

④ 問題や悩みの解消

学習や生活するうえで困ったり悩んだりした時には、解決を先延ばしにせず、質問や相談の場を有効に活用しましょう。

⑤ 社会の一員としての資質向上

地域や社会の情勢にも視野を広げるとともに、正しい情報を活用できる力を身に付け、社会の一員として望ましい資質を向上させましょう。

愛知県立旭陵高等学校

学年・組	生徒番号	氏名

1 諸 手 続

(1) 証明書発行に関すること。

証 明 書 名	提 出 書 類	手 続 先	備 考
調査書・成績（単位 修得・見込）証明書	調査書・成績（単位 修得）証明書交付願	ホームルーム担任	必要とする日の 1週間以上前 、 長期休業 中は2週間以上前 には申し込むように してください。
在学証明書	在学証明書交付願	事 務 室	当該年度の受講手続を完了していない 生徒には交付できません。
身分証明書	身分証明書の台紙に 写真を添付したもの	ホームルーム担任	身分証明書の有効期間は、その年度内 です。 毎年度 初めに発行の手続をとって ください。
学校学生生徒旅客 運賃割引証 （通信教育学校用）	学校学生生徒旅客運 賃割引証交付願	（通学用） 事 務 室	この割引は、通学に JR、名鉄及び近鉄 の鉄道を利用する場合、回数乗車券を購 入するときに適用されます。発行枚数は 年間6枚が限度です。割引証の有効期間 は1ヶ月です。
		（旅行用） ホームルーム担任 の 承 諾 を 得 て 事 務 室 へ	この割引は、大学などの受験、入社試験 や帰省などで、JR 及び近鉄（バスを除 く）を片道100kmを超える区間を乗車す る場合に適用されます。P.55 参照

(2) 次のような事由が生じた場合には、申し出てください。

事 由	提 出 書 類	申 出 先	備 考
転 学	転 学 願 （用紙は、ホームルーム 担任から交付をうける）	ホームルーム担任	やむを得ない事情により、他校に 転学を希望する場合。
退 学	退 学 願 （用紙は、ホームルーム 担任から交付をうける）	ホームルーム担任	やむを得ない事情により、退学を 希望する場合。
学 習 中 断	学 習 中 断 届	ホームルーム担任	やむを得ない事情により、年度の 途中で学習を中断する場合、及び、 翌年度の学習を中断する場合。
住所・氏名の変更	住所・氏名変更届	ホームルーム担任	この手続を怠ると学校からの連絡 ができなくなるので、必ず届けて ください。
勤務先の変更	勤務先変更届		
学校管理下で傷害 が生じた場合	医療等の状況報告書	保 健 室	「日本スポーツ振興センター」及 び「愛知県公立高等学校 PTA 連 合会見舞金」の利用。P.47 参照
交 通 事 故		ホームルーム担任	被害、加害ともに、すみやかに届 け出てください。
災 害		ホームルーム担任	火災・地震等により災害が生じた 場合。
死 亡		ホームルーム担任	生徒本人の一親等の方が死亡した 場合。

2 学校への連絡方法

(1) 郵便物による連絡

- ① 学習に関する質問や提出物などは、すべてレポートの提出方法に準じてください。
- ② 通信教育のための郵便（第4種）料金は、100gまでは15円です。（令和6年4月現在）

注意 提出用の封筒は、学校との郵便の往復以外には使用してはいけません。

(2) 電話による連絡

学校に電話をかける際は、次の点について守ってください。

- ① 連絡時間は平日の9時00分～12時00分、13時00分～16時00分をお願いします。
（生徒便覧 p. 32～p. 33 の年間行事予定表で休日になっている日は連絡ができません。）
- ② 用件を述べる前に、学年・組・生徒番号・氏名を明らかにしてください。
- ③ 用件は簡潔・明瞭に、また礼儀正しく話せるように心がけてください。

(3) 平日出校による連絡

学校に直接出校して用件を伝える際は、次の点について守ってください。

- ① 事前に学校に電話し、担当者の都合を聞いてください。
- ② 約束した時間に遅れないようにしてください。もし遅れることになったら電話で学校に連絡してください。

学習進度表でお知らせするレポートの提出状況や面接指導の出席状況について疑問があれば、ただちに、その科目の担当者に連絡をとって、確認をしてください。

例年、この確認を怠って単位が修得できなくなるケースが発生していますので、特に注意してください。

その他何かあったら早めに、ホームルーム担任に連絡してください。

電話は9時00分～12時00分、13時00分～16時00分の間にお願いします。

3 特別警報や暴風警報が発表されている場合について

午前7時になっても特別警報や暴風警報が解除されない場合は、その日の面接指導・学校行事等は実施しません。面接指導・試験が中止になったときは、その日の分を予備日に実施します。

（予備日の日程は年間行事予定表を参照してください。）

特別警報や暴風警報が発表されているときの扱いについては、本校のホームページにも掲載します。

4 「単位制」「通信制」について

旭陵高校は、科目ごとに単位を修得して卒業をめざす
単位制の通信制高校です。

「単位制」「通信制」についての詳しい説明は、以下のページにあります。

「単位制の仕組み」について

- 単位修得の条件 …………… 14 ページ
- 卒業認定の条件 …………… 14 ページ

「通信制の仕組み」について

自宅での学習

- 添削指導 …………… 19 ページ～21 ページ
- 放送視聴 …………… 21 ページ～22 ページ

出校しての学習

- 面接指導 …………… 23 ページ～28 ページ

* 面接指導の出席時数が不足する場合には
25 ページ、28 ページ、29 ページ、30 ページ

- 試験 …………… 30 ページ～31 ページ

5 オリエンテーション

Q&A

- ① レポート課題の内容について質問があるときは、どうしたらよいですか？
- ② レポートを提出期限までに提出できないときは、どうしたらよいですか？
- ③ 提出したレポートが「再提出」で返ってきたときは、どうしたらよいですか？
- ④ 「提出と認めず」とは、どういうことですか？
- ⑤ レポートを郵送するとき、何円分の切手が必要ですか？
- ⑥ 学校へ行く日は、いつですか？
- ⑦ 「X面接指導」と「Y面接指導」は、どう違うのですか？
- ⑧ 「必要面接指導時数」とは何ですか？
- ⑨ 面接指導に出席できないときは、どうしたらよいですか？
- ⑩ 「試験」は何回あるのですか？
- ⑪ 「試験」を受験できなかったときは、どうしたらよいですか？
- ⑫ 今年度に受講している科目を一つでも落としたら「進級」できないのですか？
- ⑬ 「必修科目」とは何ですか？
- ⑭ 「特別活動出席時数」（特活時数）とは何ですか？
- ⑮ 卒業するために満たさなければならない要件は、何ですか？

① レポート課題の内容について質問があるときは、どうしたらよいですか？

通信教育は「自学自習」が基本です。教科書・学習書を何回も読んで、独力でレポート課題（報告課題）に取り組みレポートを作成することが大切です。しかし、教科書・学習書を繰り返し読んでも、どうしても理解できないこともあるでしょう。そんなときは遠慮なく教科担当の教員に質問してください。

質問の方法は、面接指導などで出校したときに直接質問する方法のほかに、郵便や電話、LINE などの方法があります。いずれの場合も、学年・組・生徒番号を明示のうえ、どこがどのようにわからないのかを明確にして質問してください。解答を直接たずねる質問にはお答えできません。学校への電話のかけ方については、生徒便覧 3 ページを見てください。

② レポートを提出期限までに提出できないときは、どうしたらよいですか？

学習は年間をとおして計画的におこなうことが望ましく、したがってレポートは生徒便覧 37～38 ページの「学習計画表」に記載された各回のレポート提出期限までに提出するよう心がけることが大切です。各回のレポート提出期限は科目ごとに 2～3 週間の間隔で設定されています。

各回のレポート提出期限までに提出できなかった場合でも、「遅滞レポート提出期

限」までは提出することができます。しかし、「遅滞レポート提出期限」を過ぎると遅滞レポートを提出することができなくなり、その年度その科目の単位は修得できないこととなります。年度の途中で単位修得できなくなることを「中断」といいます。

なお、「遅滞レポート提出期限」の直前になってから遅滞レポートをまとめて提出すること（「まとめ出し」）は、やめてください。

③ 提出したレポートが「再提出」で返ってきたときは、どうしたらよいですか？

提出したレポートが学習不十分と判断されるときは「再提出」と判定して返送します。再提出を求められたレポートは必ず再提出しなければなりません。レポートは単に提出するだけでなく、学習成果が十分であると判断できるレポート内容になっていなければなりません。

再提出レポートは「再提出レポート提出期限」までに、その内容が十分である（「合格」）と判定されることが必要です。レポートは1度目の提出で内容が十分である（「合格」）と判定されなければならないわけではなく、「再提出レポート提出期限」までなら再提出レポートは何度でも繰り返し提出することができます。

ただ「再提出レポート提出期限」までに、所定の回のレポート内容が十分である（「合格」）と判定されなければ、その科目の単位は修得できないこと（「中断」）となりますから、再提出を求められたレポートは、できるだけ早く再提出するよう心がけましょう。

④ 「提出と認めず」とは、どういうことですか？

レポート課題はすべての設問・課題に解答しなければなりません。提出したレポートに空白があるときなどには、「提出したものは認められない（提出と認めず）」と判定して返送することがあります。

その場合その回のレポートは、まだ提出したものは認められていないのですから、「再提出レポート提出期限」までではなく、「遅滞レポート提出期限」までに提出しなおさなければなりません。「提出と認めず」と判定されたレポートを提出しなおすときは、「再提出レポート」でなく「遅滞レポート」の扱いになります。

⑤ レポートを郵送するとき、何円分の切手が必要ですか？

学習に関する学校との郵便は、所定の封筒を使用すれば、100グラムまで15円の郵便料金で差し出すことができます。

現在15円切手は発売されていないので10円切手と5円切手を組み合わせて使用することになりますが、小さな郵便局やコンビニでは在庫のないこともあるようですから、あらかじめ大きな郵便局で購入しておくことをおすすめします。

⑥ 学校に行く日は、いつですか？

生徒の皆さんが学校へ来る日（出校日）は、大別すると「面接指導」と「試験」の2種類があります。

「面接指導」には、「X面接指導」「Y面接指導」および「その他の面接指導」があり、「その他の面接指導」には「z面接指導」「補充面接指導」などの教科指導を内容とするものと、「学校祭」「宿泊面接指導（修学旅行）」「夏季宿泊面接指導（林間学校）」「冬季宿泊面接指導（スノーボード学校）」などの学校行事（特別活動）を内容とするものがあります。X面接指導、Y面接指導には教科指導のほかに、ホームルームがあります。

まず、「試験」には、受験資格がある生徒全員を対象とするものとして「前期X試」「前期Y試」「後期X試」「後期Y試」があり、該当者のみを対象とするものとして「前期再試」「前期追試」「後期再試」「後期追試」があります。

⑦ 「X面接指導」と「Y面接指導」は、どう違うのですか？

年間の面接指導の実施時数は科目によって、4時間の科目、6時間の科目、8時間の科目、16時間の科目があります。

8時間の科目は、連続した2週間の「X面接指導」「Y面接指導」は同一の内容を実施します。16時間の科目は、毎週異なる内容で実施します。

例をあげて具体的に説明するなら、例えば、「数学I」や「数学入門講座」は、年間8時間実施する科目なので、「X1面接指導」と「Y1面接指導」は同一の内容です。「英語コミュニケーションI」「英語入門講座」は、年間16時間実施する科目なので、「X1面接指導」と「Y1面接指導」は異なる内容です。

同一の内容の面接指導に2回以上出席しても、出席時数として計算（カウント）するのは1時間分だけです。

科目ごとの年間の面接指導実施時数は、生徒便覧23ページ、24ページまたは37～38ページをみてください。どの科目が、年間8時間実施する科目であるか、年間16時間実施する科目であるかがわかります。

その他に年間の面接指導実施時数が4時間や6時間の科目もありますが、これについては生徒便覧23ページを参照してください。

⑧ 「必要面接指導時数」とは何ですか？

その科目の単位を修得するために、年間に必ず出席しなければならない最低時数のことです。面接指導は、すべての時間に出席しなければならないわけではありませんが、年間の出席時数が必要面接指導時数に満たない場合は、その科目の単位を修得できないこと（「中断」）となります。科目ごとの必要面接指導時数については、生徒便覧24ページを見てください。

⑨ 面接指導に出席できないときは、どうしたらよいですか？

面接指導に出席できない場合に、あらかじめ学校へ電話などで連絡する必要はありません。連絡をしないことで不利益となることはありません。ただし、重大な事故等が発生した場合は、面接指導日でなくても速やかに状況をお伝えください。

面接指導の出席時数については、皆さん一人一人で各科目ごとの出欠状況を常に記録して、科目ごとの出席時数が各科目の必要面接指導時数を満たせなくなるないように、自分の出席時数は自分で管理してください。

面接指導に欠席したために必要面接指導時数を満たせない場合の「補充」の手段については、生徒便覧 25 ページを見てください。

⑩ 「試験」は何回あるのですか？

前期試験と後期試験の2回あります。科目ごとにX試験とY試験の2週に分けて実施しますから、試験は「前期X試験」「前期Y試験」「後期X試験」「後期Y試験」の4日間ということになります。

試験は前期試験と後期試験の2回とも受験しなければ、その科目の単位が修得できません。つぎの「⑪「試験」を受験できなかったときは、どうしたらよいですか？」も参照してください。詳しくは、生徒便覧 30～31 ページを見てください。

⑪ 「試験」を受験できなかったときは、どうしたらよいですか？

「定期試験」を、やむを得ない理由で受験できなかったときは、「再試験」を受験することができます。ただ「再試験」は満点が100点ではないため成績の評価で不利になります。

「定期試験」と「再試験」のどちらも受験しなかった場合は、その科目の単位が修得できないこと（「中断」）となりますから、あらかじめ予定をたて健康にも留意して、必ず受験するようにしてください。

なお、どの試験についても、やむを得ず受験できなくなった時点で、すぐにホームルーム担任に電話で連絡をとってください。詳しくは、生徒便覧 30～31 ページを見てください。

⑫ 今年度を受講している科目を一つでも落としたら「進級」できないのですか？

本校は「学年制」ではなく「単位制」なので、「進級」という考え方がそのまま当てはまるわけではありませんが、今年度「1年次生」「2年次生」「3年次生」の人が、来年度に「2年次生」「3年次生」「4年次生」になるにはどうしたらよいかについては、つぎのとおりです。

本校では、単位を修得できた科目と過去に修得済みの科目の単位数を通算して

14単位以上あれば2年次生になり、28単位以上あれば3年次生になる、というように、修得単位数の累計によって「学年」(年次)が決まります。4年次生については、その年度に卒業の見込みのある人が4年次生になります。したがって、一部の科目の単位を修得できなくても次の年度に進む可能性があります。詳しくは生徒便覧15ページ「年次編成」をご覧ください。

なお、いったん修得した科目の単位を修得しなおすことはありません。

⑬ 「必修科目」とは何ですか？

卒業までに必ず修得しなければならない科目のことです。詳しくは、生徒便覧34～35ページをご覧ください。

⑭ 「特別活動出席時数」(特活時数)とは何ですか？

特別活動として、本校では、卒業までに学校行事とLT(ロングタイム)に30時間以上の出席が必要です。2年次生・3年次生に転入学・編入学した人は、20時間以上の出席が必要です。4年次生に転入学・編入学した人は、10時間以上の出席が必要です。詳しくは、生徒便覧14ページと42、43ページをご覧ください。

⑮ 卒業するために満たさなければならない要件は、何ですか？

1年次生に新入学した人の卒業要件は、①3か年以上の在籍年数、②すべての必修科目の修得、③74単位以上の修得単位数、④30時間以上の特別活動出席時数です。

1年次生・2年次生・3年次生・4年次生に転入学・編入学した人の卒業要件は、①の在籍年数は、以前に在籍していた高校の在籍年数を通算します。②③の各教科・科目の修得単位については、以前に在籍していた高校での修得単位を生かすことができます。④の特別活動出席時数については、1年次生に転入学・編入学した人は30時間以上、2年次生・3年次生に転入学・編入学した人は20時間以上、4年次生に転入学・編入学した人は10時間以上、の出席が必要です。

詳しくは、生徒便覧14ページをご覧ください。

6 遅滞レポート締切日の失敗事例集

レポートは本校の学習においてもっとも重要なものです。ですからその提出は確実に行わなければなりません。

レポートの提出は郵送・持参にかかわらず、本校が受理した日が提出した日となります。消印の日（投函した日）が提出した日ではありません。

また、どの科目も遅滞レポート締切日に一通でも提出と認められない場合は、その科目は学習中断となってしまいます。

ここでは、遅滞レポートの締切日に起きた失敗について、過去に実際にあった事例をいくつか挙げます。いずれのケースも提出とは認められません。多くの失敗は締切日直前に発生しています。計画に沿って余裕を持って提出する習慣を身につけましょう。

自分だけは大丈夫とっていると大きな失敗につながります。以下の事例を参考に細心の注意を払って学習を進めてください。

失敗事例 1 家族や友人に提出を頼んだが、頼まれた人が遅れたり、一部のレポートが提出できなかつたりした。

コメント：自分のレポートは責任をもって自分の手で提出してください。

失敗事例 2 ギリギリに提出しに来たが、あわてていてカバンの中に一部のレポートが残っているのに気づかず提出せずに帰ってしまった。

コメント：どんなに急いでも必ず一通ずつレポートを確認してから提出してください。

失敗事例 3 学習進度表を十分に確認せず、未提出のレポートがあるのに気づかずに提出しなかった。または気づいていたが、出したはずだと思いこんで教科担任に確認せず提出しなかった。

コメント：学習進度表は必ずよく確認し、疑問な点は教科担任に確かめてください。

失敗事例 4 郵便局で何日までに届きますかと局員に確認した上で出したが、期日に間に合わなかった。

コメント：郵便局員の言葉は保証ではありません。集配時間の微妙なずれなどで配達が遅れる場合もあります。締切日直前の郵送は避けて必ず持参してください。

失敗事例 5 複数のレポートを同時にポストに投函したが、一部のレポートだけが期日に間に合わなかった。

コメント：いくら同時に出したとしても、配達時間がずれることがあります。締切日直前の郵送は避けて必ず持参してください。

失敗事例 6 切手を貼り忘れて差出人へ戻ってしまい、期日に間に合わなかった。

コメント：投函する前に切手が貼ってあるかを必ず確認してください。

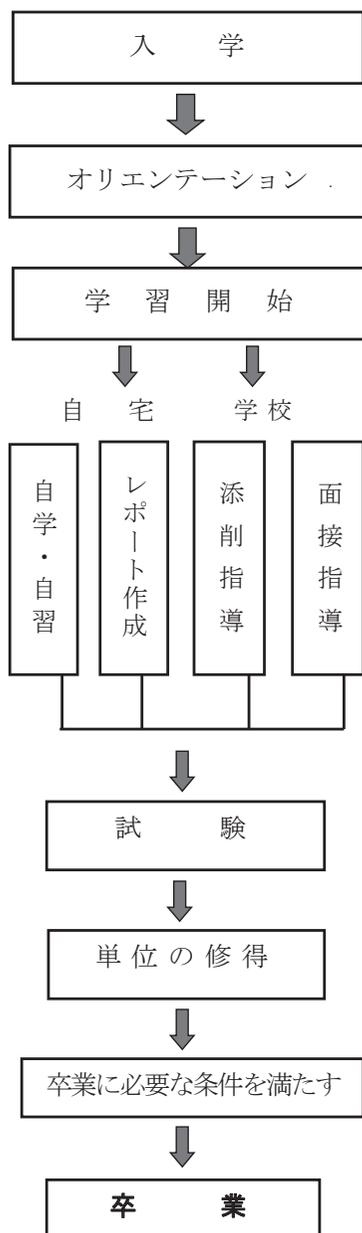
その他の失敗事例

配達途中で中身が紛失し封筒だけが学校に届いたこともあります。のり付けが十分でないことが原因です。郵便局に紛失物の調査を依頼することになりますがレポートが出てこない場合は認められません。しっかりのり付けができているか確認してください。

MEMO

第一章 入学から卒業まで

1 入学から卒業までのあらまし



(1) 入学時のオリエンテーション

入学後、すぐに新・転・編入生を対象としたオリエンテーションを実施します。通信教育における学習方法や注意点、学校での活動などについて説明をします。

(2) 自宅学習とレポート作成

通信教育では自宅学習が中心となります。

学校が定めた教育課程に基づき、教科書と学習書、副教材などを使用し、都合の良い時間にレポートに取り組み提出します。勉強の際、NHK高校講座（NHKEテレ、ラジオ第2放送、Webページ）も役に立ちます。

(3) 添削指導と面接指導

学校へ提出されたレポートは教科担当の教員が添削し、自宅に返送します。レポートは提出するだけでなく、必ず合格しなければなりません。内容が不十分な場合は再提出を求めます。その場合、レポートを必ずやり直して再度提出してください。定められた期限までにレポートが合格しない場合、単位の修得ができなくなります。

面接指導はX面接指導とY面接指導あわせて年間16日実施します。面接指導では教科担当の教員による教科指導をおこないます。この日には、ホームルーム（HR）活動、部活動などもおこないます。X面接指導・Y面接指導とは別にZ面接指導を年間8日実施します。

X・Y・Z面接指導日以外に科目によっては補充面接指導や校外学習を実施することがあります。また、林間学校、学校祭、スノーボード学校、修学旅行などの行事を内容とする面接指導もあります。これらの行事にも積極的に参加しましょう。

(4) 試 験

前期と後期の2回実施します。試験を受けるためには学校があらかじめ定める条件を満たしていることが必要です。受験資格のない科目を受験することはできません。

(5) 単位の修得

各科目の単位を修得するためには科目ごとに次の条件をすべて満たすことが必要です。

添削指導
(レポート)



定められた期日までにすべて合格していること。

面接指導
(スクーリング)



必要面接指導時数以上出席していること。

*科目ごとの必要面接指導時数は、学習計画表に示してあります。

試 験



年2回の試験を受け、その成績が良好であること。

単位の修得は、科目ごとに認定します。

(6) 卒業の認定

卒業の認定は、次の条件をすべて満たした場合におこないます。

3 か 年 以 上 の 在 籍 年 数

* 高等学校における在籍年数が、通算して3か年以上

すべての必修科目の修得

* 必修科目は、p34、35の教育課程表に示してあります。

74 単 位 以 上 の 修 得 単 位 数

(必修科目とは、卒業のために必ず修得しなければならない科目のことです。)

30 時 間 以 上 の 特 別 活 動 出 席 時 数

(*ただし 2・3年次生として入学した者 20時間
4年次生として入学した者 10時間
p42、p43を参照してください。)

(7) 教育課程

教育課程とは、入学から卒業までに必要な科目や単位数、特別活動の時間数などを示したものです。本校では4か年で卒業するのが標準ですが、3か年で卒業することも可能です。教育課程表は p. 34、35 に示してあります。

3 高等学校卒業程度認定試験の(高認)の合格科目の単位認定

「高認」の合格科目が本校の単位として認定できる場合があります。

「高認」で科目合格をした場合に、本校の単位として認定される科目及び単位数など詳細は高認説明会（4月23日（火）、7月26日（金））で示します。質問等は進路指導課まで問い合わせてください。

(1) この制度を利用して単位の認定を受けるための注意

- ① 本校に入学する前に「高認」で合格した科目については、単位認定の申請がなされても認められません。
- ② 本校の教育課程にない科目についても、単位認定を行います。

(2) この制度を利用して単位の認定を受けるための手続

- ① 本校で実施する説明会に出席をして説明を受け、「高認による単位認定仮申請書」を提出してください。
- ② 合格後、1月21日（火）までに必要書類を整え、ホームルーム担任に提出して申請してください。

必要書類 ア 「高認による単位認定申請書」

イ 高認試験合格者は「合格成績証明書」（合格証明書ではありません）

一部科目合格者は「科目合格通知書」

<参考>高等学校卒業程度認定試験（高認）

「高認」は、文部科学省が実施する試験で、高等学校を卒業したものと同等以上の学力があることを認定するための試験です。詳細は文部科学省のホームページを参照するか、本校進路指導課の担当者尋ねてください。主な内容は次のとおりです。

- ① 受験できる年齢は受験の年度内に満16歳以上であること。
- ② 試験科目の全部に合格し認定試験合格者となることができるのは満18歳の翌日から。
- ③ 「高認」合格者は大学・短大・専門学校などへの出願ができます。

4 技能審査の成果の単位認定

(1) 入学後に下表にある資格を取得した場合

- ① 対応科目の単位をすでに修得しているときは、本人からの申請により、対応科目の増加単位として認定されます。
- ② 対応科目の単位をまだ修得していないときは、対応科目の単位を修得した年度に本人からの申請により、対応科目の増加単位数として認定します。

※入学前に資格を取得している場合は、本校の単位としては認定できません。

(2) 資格が複数の科目に対応する場合

対応する科目の中の1科目を本人が選択して申請してください。

技能審査の種類		対応する科目		増加単位数 (上限)
		教科名	科目名	
実用英語技能検定 [日本英語検定協会]	1級/準1級	外国語	英コミⅡ	4単位
			英コミⅠ、論理・表現Ⅰ	3単位
	2級	外国語	英コミⅡ、英コミⅠ、論理・表現Ⅰ	3単位
	準2級	外国語	英コミⅠ	2単位
簿記実務検定1級 [全国商業高等学校協会]		商業	簿記	1単位
簿記検定2級 [日本商工会議所]		商業	簿記	1単位
簿記能力検定1級 [全国経理教育学校協会]		商業	簿記	1単位
実用数学技能検定 [日本数学検定協会]	1級/準1級	数学	数学Ⅱ	4単位
			数学Ⅰ	3単位
			数学A・数学B	2単位
	2級	数学	数学Ⅱ・数学Ⅰ	3単位
			数学A・数学B	2単位
	準2級	数学	数学Ⅰ・数学A	2単位
	3級	数学	数学入門講座	1単位

(4) この制度を利用して増加単位の認定を受けるための手続

資格取得後、1月21日(火)までに必要書類をととのえ、ホームルーム担任に提出して申請してください。

必要書類 ア 「技能審査による単位認定申請書」(用紙は2階職員室にあります。)

イ 「合格証明書」(本年に入学後合格したことがわかる書類。ホームルーム担任がコピーして返却します。)

5 学校外における学修の成果の単位認定

愛知県教育委員会の、あいちSTEM能力育成事業「知の探究講座」に参加し、活動の成果が十分であると認められる場合には、「学校外活動」として単位を認定します。詳細は教務課学習係の担当者に尋ねてください。

第二章 学 習

1 受講登録から学習開始まで

(1) 受講登録の時期

次年度に受講する科目の登録についての指導は、前年度の11月～1月頃にホームルーム担任によって実施します。

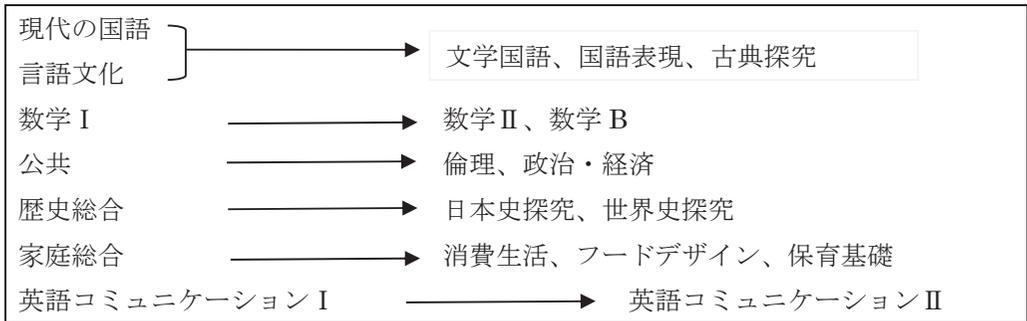
(2) 受講登録の注意

ア 受講登録できる単位数は次年度に1年次生になる場合は26単位まで、次年度に2～4年次生になる場合は30単位までです。教科書・学習書購入代金の還付(p.55)を申請する場合には2つ以上の科目を受講登録してください。

イ 卒業のために必ず修得しなければならない科目を優先的に登録しましょう。

ウ 段階的に学習する科目は以下のとおりです。左側の科目が修得済みでないと、右側の科目は受講できません。

*数学Aは数学Iが修得済みであるかまたは同時に受講することが必要です。



エ 受講科目の決め方

① 面接指導の時間割表で1つの時間帯に1つの科目を受講登録してください。

② 試験時間割表で1日6科目以内となるように受講登録してください。

オ 「高認」合格科目の単位認定を希望する場合

ホームルーム担任と相談してください。

(3) 受講科目の本人への連絡

次年度の受講科目は、年度末に納入通知書を郵送することによって連絡します。そのとき同時に時間割表(本人控え)も送付します。

(4) 学習の開始

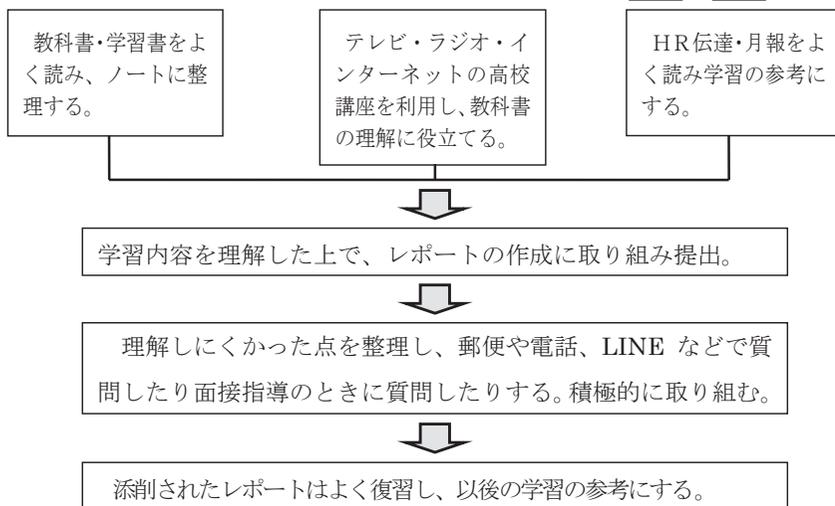
授業料・学校諸経費などの納入が完了した時点で受講手続が完了し、学習を開始することができます。

2 自宅での学習

毎日 2~3 時間は確保したいですね。

通信教育では自宅での学習が中心となります。
教科書・学習書・参考書、あるいはテレビ・ラジオ・インターネットの高校講座を利用しながら、各自で学習を進めていくことになります。計画的に学習を進めましょう。

自宅学習の進め方



◎自宅学習を支援する旭陵高校Webページ「教科の窓」も利用できます。

生徒の皆さんの自宅学習を支援するWebページ「教科の窓」を、一部の科目で開設しています。旭陵高校のホームページ（アドレスはこの生徒便覧表紙を参照してください）から、入ってください。

3 添削指導（レポート）

(1) レポート作成の方法

学習計画表を見てそれぞれのレポートをいつまでに出さなければいけないのかを確認しましょう。仕事などのスケジュール等をよく考えて学習計画を立て、まとめて提出しないようにしてください。締切日直前はミスが起きやすく、毎年、学習中断となり単位が修得できなくなるミスが発生しています。教科書・学習書をよく読み、内容を整理して自分の力でレポートに取り組むことが大切です。すべての設問・課題に答えてください。空白があるレポートは「提出とは認められない」（提出と認めず）と判断することがあります。

各レポートの提出期限内に提出して下さい。郵送する場合は、封筒を確実にのりづけしたか確認しましょう。

(2) レポートの提出方法

レポートを提出するときは、**①青色封筒**（「愛知県立旭陵高等学校 御中」と書いてある）の中に、**②完成したレポート**と**③茶色封筒**（返送先の住所・氏名を記入し15円分の切手を貼る）を入れて、提出してください。（**①②③はレポート1通に1組ずつ用意する必要があります。**）右のQRコードからYouTubeで動画が見られます。



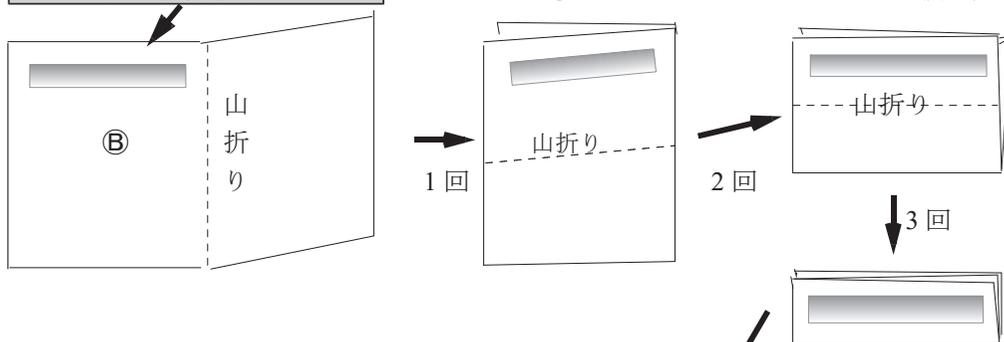
☆ **①青色封筒**（「愛知県立旭陵高等学校 御中」と書いてある）

- ・郵送で提出する場合は、おもて面に15円分の切手を貼ってください。
（事務室前のレポート投入口に直接提出する場合には切手を貼る必要はありません。）
- ・レポートを学校に持ってきて直接提出する場合は、事務室前のレポート投入口に入れてください。
夜間・休日レポート投入口は、夜間・休日などで事務室が閉まっているときの専用です。特別の場合以外は使わないでください。受付の日付けが遅れることがあります。

☆ **①青色封筒の中に入れるもの**

① **②完成したレポートの本体**

学年・組・生徒番号・氏名欄がいつもおもてに出るように3回折る（面積8分の1）



② **③茶色封筒**



※切手が貼ってなかったり、自分の住所・氏名が書いてないとレポートを返却できません。

レポート1通に1組の提出用封筒（青色封筒）と返信用封筒（茶色封筒）が必要です。

2通以上のレポートをまとめて一つの封筒に入れてはいけません。

レポートを提出するときには、以下のチェック項目を確認しましょう。

チ エ ッ ク 項 目	①1科目1課題（レポート）ごとの封筒であるか
	②正確に科目が記入してあるか
	③正しいレポート番号が記入してあるか
	④学年・組・生徒番号・住所・氏名・郵便番号が記入してあるか
	⑤講師番号が記入してあるか
	⑥（郵送で提出する場合）切手が貼ってあるか
	⑦返信用封筒に切手が貼ってあるか
	⑧返信用封筒に住所・氏名が記入してあるか

(3) レポート提出日の扱い

レポートの提出日の扱いは郵送・持参にかかわらず、本校が受理した日が提出日となります。特に郵送の場合は、ポストに投函した日や消印の日ではないことに注意してください。

※提出期限の日も当日に必着しなければなりません。十分に注意してください。

(4) 添削後、返送されたレポート

ア それぞれのレポートの提出期限日後2週間程度で返送します。返送されないときは、その科目の添削担当者にお問い合わせください。（提出期限日前に提出されたレポートでも、定められた各提出期限日が過ぎるまでは返送しません。）

イ レポートが返送されたら、**ただちに開封して中を確認してください**。再提出を求められた場合は、よく学習し直して、レポートを訂正し、速やかに再提出してください。

返送されたレポートや封筒は1年間保管しておいてください。

4 放送視聴

自学自習を手助けするものとして、NHK高校講座をはじめ教育番組の視聴を強く勧めます。また、科目によっては補充として利用できることがあります（p.29を参照してください）。一週間のスケジュールをうまくたてて、おおいに活用しましょう。

NHK高校講座の番組は、インターネットでも配信されています。詳しくはNHKのホームページ(<http://www.nhk.or.jp/kokokoza/>)を参照してください。

2024年度 NHK 高校講座 番組時刻表

■ Eテレ

※太字は新作・新番組です。

時刻	曜日	月	火	水	木	金	
午前	10:00～10:20	現代の国語 罫 公 共 罫	生物基礎 罫	地理総合 罫 歴史総合 罫	英語 コミュニケーション I	情報I 罫 科学と人間生活 罫	10:00～10:20
	10:20～10:30	ベーシック国語 罫	化学基礎 罫	日本史 罫	ベーシック英語 物理基礎 罫	数学A 罫	10:20～10:30
	10:30～10:40	数学I 罫					地学基礎 罫
	10:40～10:50		家庭総合 罫	10:40～10:50			
	10:50～11:00	ベーシック数学 罫					10:50～11:00
	11:00～11:10					ビジネス基礎 罫 ロンリのちから 罫	11:00～11:10
	11:10～11:30					芸術 美術I 罫 芸術 書道I 罫	11:10～11:30

罫：字幕放送

■ ラジオ第2

※太字は新作・新番組です。

時刻	曜日	月	火	水	木	金	土
午後	7:30～7:50	文学国語		日本史探究	英語 コミュニケーション III	古典探究	仕事の現場 real
	7:50～8:10	数学II		論理国語		倫 理	政治・経済
	8:10～8:30	英語 コミュニケーション II	英語表現 I	保健体育	音楽 I	言語文化	

■ インターネット / Eテレ 夏期・冬期・春期講座 (放送予定)

Eテレ	数学II (TV) 罫	(各20分)	WEB 配信	夏、冬、春期講座で 放送 (予定) ※放送日は決定次第、 ホームページでお知らせします。
	簿 記 罫	(各20分)		
	総合的な探究の時間 罫	(各20分)		
	体育実技 罫	(各10分)		

■ 「夏期・冬期・春期講座」について

高校講座全体から選んだ復習のための再放送や特集などを定時の科目枠をはなれて放送します。

※テレビ、ラジオの放送日時を変更・休止することがあります。変更の場合は、ホームページでお知らせします。

5 面接指導（スクーリング）

(1) 面接指導日（面接指導日の時間割表は p. 26、27、28 に示してあります。）

ア X面接指導およびY面接指導は日曜日に、年間16日実施します。

X1: 4月28日(日) Y1: 5月5日(日) X2: 5月19日(日) Y2: 5月26日(日)
 X3: 6月9日(日) Y3: 6月16日(日) X4: 6月30日(日) Y4: 7月7日(日)
 X5: 10月6日(日) Y5: 10月13日(日) X6: 10月27日(日) Y6: 11月3日(日)
 X7: 11月17日(日) Y7: 11月24日(日) X8: 12月8日(日) Y8: 12月15日(日)

イ z面接指導は火曜日に、年間8日実施します。

z1: 5月7日(火) z2: 5月28日(火) z3: 6月18日(火) z4: 7月9日(火)
 z5: 10月15日(火) z6: 11月5日(火) z7: 11月26日(火) z8: 12月17日(火)

(2) 実施する面接指導時間数（実施面接指導時数）

実施する面接指導時数は科目によって異なります。X面接指導およびY面接指導で年間に実施する時数は次のとおりです。同じ内容の面接指導に2回以上出席しても、出席時数として計算するのは1時間分のみです。

		年間4時間実施する科目	年間6時間実施する科目	年間8時間実施する科目		年間16時間実施する科目
		「現代の国語」 「言語文化」 「地理総合」 「歴史総合」 「公共」 「倫理」 「政治・経済」 「数学A」 「数学B」 「保健」	「総合的な探究の時間」	「文学国語」「国語表現」「古典探究」「日本史探究」「世界史探究」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学入門講座」「消費生活」「保育基礎」「ビジネス基礎」「ビジネス・コミュニケーション」「ビジネス法規」、理科・芸術・情報のすべての科目	「フードデザイン」	「体育②③」「家庭総合」「簿記」、外国語のすべての科目
前期	X1 (4月28日)	第1時間	第1時間	第1時間	第1・2時間	第1時間
	Y1 (5月5日)		第2時間	第2時間		第2時間
	X2 (5月19日)		第3時間	第3時間	第3・4時間	第3時間
	Y2 (5月26日)		第4時間	第4時間		第4時間
	X3 (6月9日)	第2時間	第5時間	第5時間	第5・6時間	第5時間
	Y3 (6月16日)		第6時間	第6時間		第6時間
	X4 (6月30日)		第7時間	第7時間	第7・8時間	第7時間
	Y4 (7月7日)		第8時間	第8時間		第8時間
X5 (10月6日)	第3時間	第9時間	第9時間	第9・10時間	第9時間	
Y5 (10月13日)		第10時間	第10時間		第10時間	
X6 (10月27日)		第11時間	第11時間	第11・12時間	第11時間	
Y6 (11月3日)		第12時間	第12時間		第12時間	
X7 (11月17日)	第4時間	第13時間	第13時間	第13・14時間	第13時間	
Y7 (11月24日)		第14時間	第14時間		第14時間	
X8 (12月8日)		第15時間	第15時間	第15・16時間	第15時間	
Y8 (12月15日)		第16時間	第16時間		第16時間	
		X面接またはY面接のどちらか一方の偶数回か奇数回に出席してください。	X1・X2・X3・X4・X5・X6に出席してください。	X面接またはY面接のどちらか一方に出席してください。	Y面接の偶数回か奇数回のどちらか一方に2時間続きで出席してください。	X面接およびY面接の両方に出席してください。

年間 4 時間実施する科目 → 「現代の国語」、「言語文化」、「地理総合」、「歴史総合」、「公共」、「倫理」、「政治・経済」、「数学 A」、「数学 B」、「保健」

(X面接またはY面接のどちらか一方の、偶数回か奇数回に出席してください)

年間 6 時間実施する科目 → 「総合的な探究の時間」

(X 1・X 2・X 3・X 4・X 5・X 6に出席してください)

年間 8 時間実施する科目 → 理科・芸術のすべての科目、「情報」、「文学国語」、「国語表現」、「古典探究」、「日本史探究」、「世界史探究」、「数学 I」、「数学 II」、「数学入門講座」、「消費生活」、「保育基礎」、「フードデザイン」、「ビジネス基礎」、「ビジネス法規」「ビジネス・コミュニケーション」

〔X面接またはY面接のどちらか一方に出席してください。ただし、「フードデザイン」のみY面接の偶数回か奇数回に2時間続きで出席してください。〕

年間 16 時間実施する科目 → 外国語のすべての科目、「体育②」、「体育③」、「家庭総合」、「簿記」

(X面接およびY面接の両方に出席してください)

(3) 出席しなければならない時間数（必要面接指導時数）

その科目の単位を修得するには、科目ごとに定める最低時数（必要面接指導時数）以上は必ず出席しなければなりません。科目ごとに定める必要面接指導数は下の表に示すとおりです。

2時間以上	現代の国語、言語文化、地理総合、歴史総合、公共、倫理、政治・経済 数学A、数学B、保健
3時間以上	数学 I、数学入門講座、総合的な探究の時間
4時間以上	文学国語、国語表現、古典探究、日本史探究、世界史探究、数学 II
5時間以上	情報 I
6時間以上	消費生活、フードデザイン、保育基礎、ビジネス基礎、ビジネス法規、 ビジネス・コミュニケーション、すべての芸術科目
7時間以上	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎
8時間以上	家庭総合、簿記
9時間以上	体育②
12時間以上	英語コミュニケーション I、論理・表現 I、英語入門講座
13時間以上	体育③
14時間以上	英語コミュニケーション II

(4) 面接指導における注意

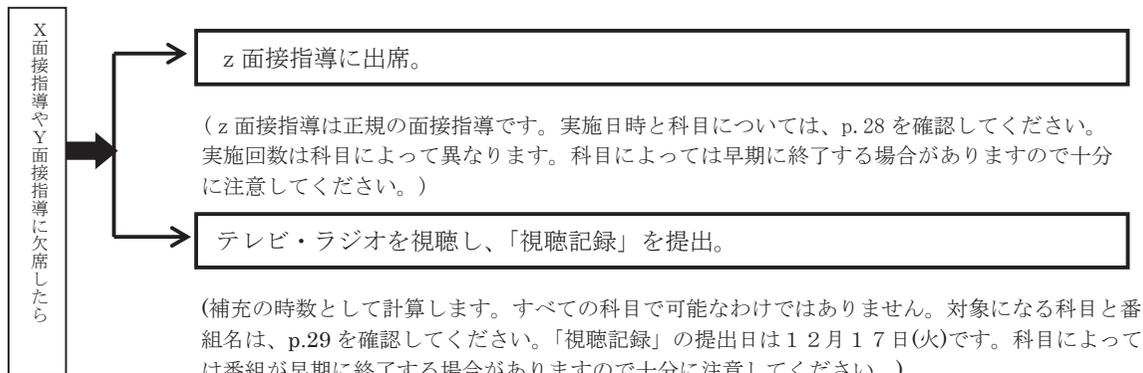
ア 面接指導には遅刻しないようにしましょう。遅刻した場合は出席として認められない場合があります。

イ 出席したら必ず出席票を提出して下さい。提出しない場合は出席として扱いません。

ウ 面接指導の内容は「月報」であらかじめ予告します。よく予習して臨みましょう。

(5) 面接指導に欠席したら

面接指導に欠席したため必要面接指導時数を満たせない場合には出席時数の補充ができます。ただし補充できる時数には限度があります。科目ごとの補充可能時数は p. 37~p. 38 の学習計画表で確認してください。



「視聴記録」を提出するときの注意

- 放送番組の視聴を科目の補充として利用するためには、「視聴記録」を提出しなければなりません。「視聴記録」用紙の入手の仕方や書き方、提出の仕方など詳細については、それぞれの科目の担当者に問い合わせ、その指導を受けてください。
- 放送番組 40分以上の視聴及び「視聴記録」の作成で1時間の補充として計算します。

上記の方法以外に補充する方法がある科目

体育 間学校又はスノーボード学校に行き、体育的実習に参加し十分であると認められる場合は2時間を、体育補充（5月実施）に出席し十分であると認められる場合は2時間を補充時数として認定します。

音楽 I クラシックの曲を鑑賞したうえで、その感想文を提出し内容が十分と認められた場合は演奏時間に応じて60分以上ごとに補充時数として認定します。

美術 I 美術展または工芸展を鑑賞したうえで、その感想文を提出し内容が十分と認められる場合は1時間を補充時数として認定します。

書道 I 書道展を鑑賞したうえで、その感想文を提出し内容が十分と認められる場合は、1時間を補充時数として認定します。または、指示された課題を提出し内容が十分と認められる場合は、相当する時間を認定します。

「数学A」「消費生活」「ビジネス法規」「総合的な探究の時間」については時間補充課題があります。

その他 一部の科目で「校外学習」を実施することがあります。これは正規の面接指導です。

実施については、「月報」や「HR伝達」などで連絡します。

補充面接指導の時間割

日程：5月12日(日) 科目：体育

*詳細はX1（体育の面接指導時）にお知らせします。

X面接指導日の時間割

受講する講座に印をつけておきましょう。

	1限 9:00～9:50	2限 10:00～10:50	3限 11:00～11:50	4限 12:40～13:30	5限 13:40～14:30	6限 14:40～15:30	6限終了後 15:35～
		現代の国語、言語文化	現代の国語、言語文化	現代の国語、言語文化			
X1 (4月28日)	文学国語 古典探究	国語表現		文学国語		古典探究	
X2 (5月19日)			地理総合		地理総合		
X3 (6月9日)		歴史総合 世界史探究		歴史総合 世界史探究	世界史探究	歴史総合	
X4 (6月30日)	日本史探究	公共 倫理、政治・経済	日本史探究	公共		公共 倫理、政治・経済	
X5 (10月6日)			数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ		
X6 (10月27日)		数学A、数学B				数学Ⅱ	
X7 (11月17日)			数学入門講座	数学入門講座	数学入門講座		
X8 (12月8日)		化学基礎 生物基礎	化学基礎 生物基礎 地学基礎	化学基礎 生物基礎	化学基礎 生物基礎 地学基礎	物理基礎 化学基礎 生物基礎	
		体育②③	体育②③ 保健	体育②③	体育②③ 保健	保健	
			美術Ⅰ	美術Ⅰ	音楽Ⅰ	音楽Ⅰ	
	書道Ⅰ	書道Ⅰ					
	英語コミュニケーションⅡ		英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーションⅠ	
		論理・表現Ⅰ			論理・表現Ⅰ		
			英語入門講座	英語入門講座	英語入門講座	英語入門講座	
		家庭総合 保育基礎	家庭総合 保育基礎	家庭総合	家庭総合		
	ビジネス基礎			ビジネス基礎			
	ビジネス・コミュニケーション				ビジネス・コミュニケーション		
		簿記	ビジネス法規		簿記	ビジネス法規	
				情報Ⅰ		情報Ⅰ	
	総合的な探究の時間						ロングタイム

出席の記録

出席した時間に印をつけておきましょう。

X面接	1限 9:00～9:50	2限 10:00～10:50	3限 11:00～11:50	4限 12:40～13:30	5限 13:40～14:30	6限 14:40～15:30	6限終了後 15:35～
受講科目 (受講教室)	()	()	()	()	()	()	()
X1 (4月28日)							
X2 (5月19日)							
X3 (6月9日)							
X4 (6月30日)							
X5 (10月6日)							
X6 (10月27日)							
X7 (11月17日)							
X8 (12月8日)							

Y面接指導日の時間割

受講する講座に印をつけておきましょう。

	1限 9:00~9:50	2限 10:00~10:50	3限 11:00~11:50	4限 12:40~13:30	5限 13:40~14:30	6限 14:40~15:30	6限終了後 15:35~
Y1 (5月5日)	現代の国語、言語文化 古典探究		現代の国語、言語文化 文学国語	現代の国語、言語文化 文学国語	現代の国語、言語文化 古典探究	文学国語 古典探究	
Y2 (5月26日)		地理総合 歴史総合		地理総合 歴史総合	歴史総合 世界史探究	地理総合 歴史総合	
Y3 (6月16日)			日本史探究		世界史探究		
Y4 (7月7日)		公共	日本史探究	公共	公共	日本史探究 公共	
Y5 (10月13日)	倫理、政治・経済 数学 I	倫理、政治・経済		数学 I	数学 I	倫理、政治・経済	
Y6 (11月3日)		数学A、数学B	数学 II	数学入門講座	数学入門講座	数学A、数学B	
Y7 (11月24日)		物理基礎	物理基礎				
Y8 (12月15日)	化学基礎 生物基礎 地学基礎	生物基礎	化学基礎 生物基礎	化学基礎 地学基礎	化学基礎 生物基礎	化学基礎 生物基礎 地学基礎	
		体育②③ 保健	体育②③ 保健	体育②③	体育②③ 音楽 I 美術 I	音楽 I 美術 I	
	書道 I	美術 I 書道 I		美術 I			
	英語コミュニケーション II		英語コミュニケーション I	英語コミュニケーション I	英語コミュニケーション I	英語コミュニケーション I	
		論理・表現 I			論理・表現 I		
			英語入門講座	英語入門講座	英語入門講座	英語入門講座	
	消費生活	家庭総合 消費生活	家庭総合	家庭総合	家庭総合		
			フードデザイン				
		ビジネス基礎				ビジネス基礎	
	ビジネス法規	ビジネス・コミュニケーション		ビジネス法規	ビジネス・コミュニケーション		
		簿記			簿記		
	情報 I		情報 I	情報 I		情報 I	
							ロングタイム

出席の記録

出席した時間に印をつけておきましょう。

Y面接	1限 9:00~9:50	2限 10:00~10:50	3限 11:00~11:50	4限 12:40~13:30	5限 13:40~14:30	6限 14:40~15:30	6限終了後 15:35~
受講科目 (受講教室)	()	()	()	()	()	()	()
Y1 (5月5日)							
Y2 (5月26日)							
Y3 (6月16日)							
Y4 (7月7日)							
Y5 (10月13日)							
Y6 (11月3日)							
Y7 (11月24日)							
Y8 (12月15日)							

z 面接指導日の時間割

2024年度(令和6年度)

		1限 9:00~9:50	2限 10:00~10:50	3限 11:00~11:50	4限 13:00~13:50	5限 14:00~14:50
z 1 (5月7日)	S2・3教室		文学国語	国語表現	数学Ⅰ	
	S4教室				数学入門講座	
	大体育館					体育
z 2 (5月28日)	S2・3教室			現代の国語	総合的な探究の時間	
	大体育館					体育
z 3 (6月18日)	S2・3教室	簿記	ビジネス基礎	ビジネス法規	言語文化	
	物理化学教室(K2教室)		世界史探究	消費生活	フードデザイン	
	多目的教室(K5教室)				ビジネス・コミュニケーション	
	大体育館					体育
z 4 (7月9日)	S1教室		倫理	政治・経済		
	S2・3教室	歴史総合	公共	保健	地学基礎	
	S4教室		日本史探究	古典探究		
	物理化学教室(K2教室)			家庭総合	保育基礎	
	多目的教室(K5教室)	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅠ		英語入門講座	
大体育館					体育	
z 5 (10月15日)	S1教室		情報Ⅰ			
	S2・3教室			数学A・数学B	数学Ⅰ	
	S4教室			数学Ⅱ	数学入門講座	
	物理化学教室(K2教室)		生物基礎	物理基礎	化学基礎	
	視聴覚教室(K4教室)	音楽Ⅰ			美術Ⅰ	
	多目的教室(K5教室)	書道Ⅰ	論理・表現Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーションⅡ	
大体育館					体育	
z 6 (11月5日)	S1教室		情報Ⅰ			
	物理化学教室(K2教室)	生物基礎	地学基礎	物理基礎	化学基礎	
	視聴覚教室(K4教室)	音楽Ⅰ			美術Ⅰ	
	多目的教室(K5教室)	書道Ⅰ	英語入門講座	地理総合	英語コミュニケーションⅠ	
	大体育館					体育
z 7 (11月26日)	S1教室		情報Ⅰ			
	S2・3教室	簿記	ビジネス基礎	ビジネス法規	ビジネス・コミュニケーション	
	物理化学教室(K2教室)	生物基礎	地学基礎	物理基礎	化学基礎	
	生物地学教室(K3教室)	現代の国語		消費生活	フードデザイン	
	視聴覚教室(K4教室)	音楽Ⅰ			美術Ⅰ	
	多目的教室(K5教室)	書道Ⅰ	英語コミュニケーションⅡ	地理総合	論理・表現Ⅰ	
	大体育館					体育
z 8 (12月17日)	S1教室		情報Ⅰ			
	S2・3教室	歴史総合	公共	保健	言語文化	
	S4教室	古典探究	文学国語	国語表現		
	物理化学教室(K2教室)	世界史探究		家庭総合	保育基礎	
	視聴覚教室(K4教室)	音楽Ⅰ		日本史探究	美術Ⅰ	
	多目的教室(K5教室)	書道Ⅰ				
	大体育館					体育

出席の記録

出席した時間の科目名を記入しておきましょう。

z 面接	1限 9:00~9:50	2限 10:00~10:50	3限 11:00~11:50	4限 13:00~13:50	5限 14:00~14:50
z 1 (5月7日)					
z 2 (5月28日)					
z 3 (6月18日)					
z 4 (7月9日)					
z 5 (10月15日)					
z 6 (11月5日)					
z 7 (11月26日)					
z 8 (12月17日)					

面接指導の補充として利用できる放送番組 放送曜日・時間は、p.22 参照

■ NHK 高校講座 (Eテレ)

科目名	番組名	科目名	番組名
世界史探究	世界史	生物基礎	生物基礎
日本史探究	日本史	地学基礎	地学基礎
地理総合	地理総合	美術 I	芸術
数学 I	数学 I	書道 I	芸術
数学入門講座	ベーシック数学	英語コミュニケーション I	英語コミュニケーション I
数学 A	数学 A	家庭総合	家庭総合
物理基礎	物理基礎	情報 I	情報 I
化学基礎	化学基礎	ビジネス	ビジネス基礎
英語入門講座	ベーシック英語	簿記	簿記
現代の国語	現代の国語	歴史総合	歴史総合
公共	公共		

注意 1. 「芸術」の番組では、同じ時間帯に美術と書道が交互に放送されます。補充として利用できるのは、それぞれの科目に対応した内容の番組に限ります。

■ NHK 高校講座 (ラジオ第 2) 名古屋 909kHz 豊橋・中津川 1,359kHz

科目名	番組名	科目名	番組名
言語文化	言語文化	保健及び体育	保健体育
文学国語	文学国語	倫理	倫理
古典探究	古典探究 (古典)	音楽 I	音楽 I
政治・経済	政治・経済	英語コミュニケーション II	英語コミュニケーション II
数学 II	数学 II	論理・表現 I	英語表現 I
		日本史探究	日本史探究

注意 2. 「保健体育」の番組は、「保健」と「体育」の区別があります。

◆ 「NHK 高校講座」以外の番組

(補充として利用できる番組は、番組の廃止その他の理由により変更する場合があります。)

	科目名	番組名	放送曜日・時間
芸術	美術 I	日曜美術館	NHK Eテレ (日曜) 午前 9:00 ~ 10:00 Eテレ(再) (日曜) 午後 8:00 ~ 9:00
家庭	フードデザイン	NHK きょうの料理	NHKEテレ (月曜～火曜) 午後 9:00 ~ 9:24 NHK総合 (金曜) 午後 0:20 ~ 0:43 Eテレ(再) (火曜～水曜) 午前 11:30 ~ 11:54 Eテレ(再) (水曜) 午後 9:00 ~ 9:23
	保育基礎	NHK すくすく子育て	NHK Eテレ (土曜) 午後 0:30 ~ 1:00 Eテレ(再) (木曜) 午前 11:20 ~ 11:55

(6) 「平日面接指導」

前期の「再試・追試」翌々日（10月1日（火））までに「放送視聴」（視聴記録）の補充可能時数を満たした科目については、「後期遅滞レポート提出期限」（12月3日（火））までの平日（ただし、z 面接指導日を除きます。）に、特別の面接指導（「平日面接指導」）を実施することがあります。希望者は、「z 2 面接指導日」（5月28日（火））までに、所定の申込書をホームルーム担任に提出してください。

なお、「平日面接指導」を希望する場合は、「視聴記録」を提出する前に、該当科目の担当者およびホームルーム担任に相談してから、計画的・継続的に「放送視聴」をおこなうようにしてください。

6 試験

試験は前期と後期の2回実施します。**この2回の試験を受験しないと単位を修得することができません。**万全の準備をして試験に臨みましょう。（ただし、芸術及び情報のすべての科目は前期のみ実施します。「総合的な探究の時間」は前期・後期とも試験を実施しません。）

どの試験についても、やむを得ず受験できなくなった時点で、すぐにホームルーム担任に電話で連絡をとってください。

受験上の注意

- ① 試験は厳正な態度で臨みましょう。不正行為があった場合は断固たる処置をとります。
- ② 事前に学校から送付される受験カードに指示された時間帯・教室で受験してください。
- ③ 遅刻をしないようにしましょう。ただし、試験開始後10分間までは入室を認めます。
- ④ 試験開始後は途中退出できません。正当な理由なく途中退出したときは、その科目は「0点」となります。
- ⑤ 机上には本校が発行する本年度の身分証明書・受験カード・筆記用具のみ置くことができます（身分証明書は運転免許証などで代用できません）。その他のものはカバンの中に入れてください。特に携帯電話は電源を切ってカバンの中に入れてください。
- ⑥ 机の中は空にしてください。

※ 特別警報や暴風警報が発表されたとき

午前7時になっても特別警報や暴風警報が解除されない場合はその日の試験は中止し、予備日に実施します。予備日の日程は、年間行事予定表を参照してください。

レポートを提出期限までに提出する。

(学校必着)

遅滞レポート提出期限

前期 7月9日(火) 16:00
後期 12月3日(火) 16:00

再提出レポート提出期限

前期 7月23日(火) 16:00
後期 12月17日(火) 16:00

いずれもこれらの期日までに提出され、内容が合格と認められることが必要です。所定の回のレポートが合格であれば受験資格ができ、学校からは受験カードを送付します。

定期試験 (100点満点・40分間)

前期 X試験 9月 1日(日)
Y試験 9月 8日(日)
後期 X試験 1月12日(日)
Y試験 1月19日(日)

受験カードで指示された時間帯と教室で受験してください。
受験カードと身分証明書を持参してください。

定期試験が急な病気やケガなどやむを得ない理由で受験できなかった場合は、HR担任から前期9月18日(水)、後期1月29日(水)に送付される「再試験連絡票」で、時間帯と教科を確認して受験すること。

試験の得点が基準点(合格点)に達しなかった場合、学校から「追試験連絡票」を送付します。

追試験 (25分間で実施。合格基準は科目ごとに異なります。)

該当者には実施時間と受験教室を別途連絡します。
前期 追試験 9月29日(日)
後期 追試験 2月9日(日)
「追試験連絡票」と身分証明書を持参してください。

再試験 (80点満点・25分間)

前期 再試験 9月29日(日)
後期 再試験 2月9日(日)

再試験の時間割は別途指示します。指示された時間帯で受験してください。

学校から送付された「再試験連絡票」と身分証明書を持参してください。

返却された答案は1年間大切に保管すること。確認が必要となる場合があります。

定期試験の時間割

受験する科目に印をつけておきましょう。

		1限	2限	3限	4限	5限	6限
X試験		9:15~9:55	10:10~10:50	11:05~11:45	12:40~13:20	13:35~14:15	14:30~15:10
前期	定期試験 9月1日	音楽 I	体育②	現代の国語	言語文化	物理基礎	生物基礎
		美術 I	体育③	国語表現	文学国語	化学基礎	家庭総合
後期	定期試験 1月12日	書道 I		地理総合	古典探究	地学基礎	消費生活
		情報 I		世界史探究		保育基礎	フードデザイン
Y試験		9:15~9:55	10:10~10:50	11:05~11:45	12:40~13:20	13:35~14:15	14:30~15:10
前期	定期試験 9月8日	ビジネス基礎	保健	英語コミュニケーション I	数学 I	歴史総合	日本史探究
		ビジネスコミュニケーション		英語コミュニケーション II	数学 II	倫理	公共
後期	定期試験 1月19日	ビジネス法規		論理・表現 I	数学 A	数学 B	政治・経済
		簿記		英語入門講座	数学入門講座		

「国語表現」「音楽 I」「美術 I」「書道 I」「情報 I」は後期試験をおこないません。

上記の時間割は基本となるものであり、同一時間に重複する科目がある場合などは、時間割が移動します。各自の「受験カード」に示された時間割で受験してください。

令和6年度(2024年4月-2025年3月)

年間行事予定表

4月	5月	6月	7月	8月	9月
1 月	1 水	1 土	1 月	1 木	1 日 X試験
2 火	2 木	2 日	2 火	2 金	2 月
3 水 在校生手続日	3 金 憲法記念日	3 月	3 水 学習進度表送付	3 土	3 火
4 木 在校生手続日	4 土 みどりの日	4 火	4 木	4 日	4 水
5 金 在校生手続日	5 日 Y1 離任式 こどもの日	5 水	5 金	5 月	5 木
6 土	6 月	6 木	6 土	6 火	6 金
7 日 在校生出校日 内科検診	7 火 z1	7 金	7 日 Y4 生活体験発表会	7 水	7 土 中部生活体験発表会
8 月	8 水	8 土	8 月	8 木	8 日 Y試験
9 火	9 木	9 日 X3 4年進路説明会 学習進度表配付	9 火 z4 前期選考レポート締切日	9 金 受験資格連絡 学習進度表送付	9 月
10 水 入学生手続日	10 金	10 月	10 水	10 土	10 火
11 木 入学生手続日	11 土	11 火	11 木	11 日 山の日	11 水
12 金 入学生手続日	12 日 補充	12 水	12 金	12 月	12 木
13 土	13 月 保護者個別懇談会(1年)	13 木	13 土 林間学校	13 火	13 金
14 日 入学式	14 火 保護者個別懇談会(1年)	14 金	14 日 林間学校	14 水	14 土
15 月	15 水 保護者個別懇談会(2・3年)	15 土	15 月 海の日	15 木	15 日 予備日
16 火	16 木 保護者個別懇談会(4年)	16 日 Y3 進路学習会	16 火	16 金	16 月 敬老の日
17 水	17 金	17 月	17 水	17 土	17 火
18 木	18 土	18 火 z3	18 木	18 日	18 水
19 金	19 日 X2	19 水	19 金	19 月	19 木
20 土	20 月	20 木	20 土	20 火	20 金
21 日 オリエンテーション・内科検 診・1年X線 心電図	21 火	21 金	21 日	21 水	21 土
22 月	22 水	22 土	22 月	22 木	22 日 秋分の日
23 火 高認説明会(第1回)	23 木	23 日	23 火 前期再提出レポート 締切日・予備日	23 金	23 月 修学旅行
24 水	24 金	24 月	24 水	24 土	24 火 修学旅行
25 木	25 土	25 火	25 木	25 日 部活	25 水
26 金	26 日 Y2 生徒総会	26 水	26 金 高認説明会(第2回)	26 月	26 木
27 土	27 月	27 木	27 土	27 火	27 金
28 日 X1	28 火 z2	28 金	28 日 予備日	28 水	28 土
29 月 昭和の日	29 水	29 土	29 月	29 木 生徒連絡日	29 日 再試・追試
30 火	30 木	30 日 X4 防災訓練	30 火	30 金	30 月
・春期休業(～5日)	31 金	・検尿(二次)	31 水	31 土	
		・保護者会理事会・総会	・夏季休業(18日～) ・一日看護体験 ハローワークジョブキャンパス	・閉庁期間(12日～16日) ・夏季休業(～28日)	

予定は都合により変更することがあります

10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 火	1 金	1 日 予備日	1 水 元日	1 土 スノーボード学校	1 土
2 水	2 土	2 月	2 木 年始	2 日 予備日	2 日
3 木	3 日 Y6 文化の日	3 火 後期遅滞レポート 締切日 予備日	3 金 年始	3 月	3 月
4 金	4 月	4 水	4 土	4 火	4 火
5 土 県生活体験発表会	5 火 z6	5 木	5 日	5 水	5 水
6 日 X5 前期試験結果連絡表配付	6 水	6 金	6 月	6 木	6 木
7 月	7 木	7 土	7 火	7 金	7 金
8 火	8 金	8 日 X8 受講登録	8 水	8 土	8 土
9 水	9 土	9 月	9 木 生徒連絡日	9 日 再試・追試	9 日
10 木	10 日 学校祭	10 火	10 金	10 月	10 月
11 金	11 月	11 水	11 土	11 火 建国記念の日	11 火
12 土	12 火	12 木	12 日 X試験	12 水	12 水
13 日 Y5	13 水	13 金	13 月 成人の日	13 木	13 木
14 月 スポーツの日	14 木	14 土	14 火	14 金	14 金
15 火 z5	15 金	15 日 Y8 受講登録	15 水	15 土	15 土
16 水	16 土	16 月	16 木	16 日 追認指導 予備日	16 日 卒業式
17 木	17 日 X7 受講登録説明	17 火 z8 後期再提出レポート 視聴記録締切日	17 金	17 月 後期試験結果連絡表送付	17 月
18 金	18 月	18 水	18 土	18 火	18 火
19 土	19 火	19 木	19 日 Y試験	19 水	19 水
20 日 予備日	20 水	20 金 受験資格連絡 学習進度表送付	20 月	20 木	20 木 春分の日
21 月	21 木	21 土	21 火 高認単位認定申請締切日・技能 審査単位認定締切日	21 金	21 金
22 火 予備日	22 金 県民の日学校ホリデー	22 日	22 水	22 土	22 土
23 水	23 土 勤労感謝の日	23 月	23 木	23 日 天皇誕生日	23 日
24 木	24 日 Y7 受講登録	24 火	24 金	24 月	24 月 入試(新入後期)
25 金	25 月	25 水	25 土	25 火	25 火
26 土	26 火 z7	26 木	26 日 入試(新入前期)	26 水	26 水
27 日 X6 学習進度表配付 東海四県交歓会	27 水 学習進度表送付	27 金	27 月	27 木	27 木
28 月	28 木	28 土	28 火	28 金	28 金
29 火	29 金	29 日 年末	29 水		29 土
30 水	30 土	30 月 年末	30 木		30 日
31 木		31 火 年末	31 金 スノーボード学校		31 月
		・冬期休業(23日～) ・人権週間(4日～10日)	・冬季休業(～6日) ・大学入学共通テスト		・春期休業(24日～)

令和3年度以前に入学した生徒用教育課程編成表

教科	科目	標準 単位数	1年次	2年次	3年次	4年次	計	備考
共通科目	国語	国語総合	4	4●			4	(1)受講科目を選択することで3年間での卒業が可能。 (2)●のついた科目及び総合的な探究(学習)の時間は必修。 (3)△□のついた科目は選択必修科目で、同記号の科目の中から1科目以上を選択。 (4)理科は選択必修科目で、◇から3科目以上を選択。 (5)◎○のついた科目は新入学時に同記号の科目の中からそれぞれどちらか一方を選択。 (6)「数学入門講座・英語入門講座」は学校設定科目。 (7)単位制で運用するので類型は設けない。 (8)卒業に必要な単位数は74単位以上とする。 (9)教務内規に従って高等学校卒業程度認定試験でこの表にある科目に合格した場合、当該科目の標準単位数を本校の単位として認定できる。 (10)学校外における学修 教科「学校外活動」 科目「知の探究講座」
		国語表現	3			4	4	
		現代文B	4			4	4	
		古典B	4			4	4	
	地理歴史	世界史B	4			4●	4	
		日本史B	4			4△	4	
		地理A	2			2△	2	
	公民	現代社会	2	2●			2	
		倫理	2			2	2	
		政治・経済	2			2	2	
	数学	数学Ⅰ	3	◎3●			3	
		数学Ⅱ	4			4	4	
		数学A	2			2	2	
		数学B	2			2	2	
		数学入門講座	3	◎3			3	
	理科	生物基礎	2	2◇			2	
		物理基礎	2			2◇	2	
		化学基礎	2			2◇	2	
		地学基礎	2			2◇	2	
	保健体育	体育	7～8	3●	3●	3●	3	
保健		2	2●				2	
芸術	音楽Ⅰ	2			2□	2		
	美術Ⅰ	2			2□	2		
	書道Ⅰ	2			2□	2		
外国語	コミュニケーションⅠ	3	○3●			3		
	コミュニケーションⅡ	4			4	4		
	英語表現Ⅰ	2			3	3		
	英語入門講座	3	○3			3		
家庭情報	家庭総合	4		4●		4		
	社会と情報	2			2●	2		
専門科目	商業	ビジネス基礎	2～4			3	3	
		ビジネス実務	2～4			3	3	
		経済活動と法	2～4			3	3	
		簿記	2～5			4	4	
	家庭	消費生活	2～4			3	3	
		子どもの発達と保育	2～8			3	3	
		フードデザイン	2～6			3	3	
特別活動	30単位時間以上	10以上	10以上	10以上	10以上			
総合的な探究(学習)の時間	3～6	3●				3		
登録可能な単位数の上限			26	30	30	30		

※1年次(0～13単位を修得しているもの)2年次(14～27単位を修得しているもの)3年次(28単位以上修得していて、その年度に卒業条件を満たす見込みのないもの)4年次(その年度に卒業条件を満たす見込みのあるもの)

※●は必修科目。◇△□は選択必修科目。無印は選択科目。

令和4年度以降に入学した生徒用教育課程編成表

教科	科目	標準 単位数	1年次	2年次	3年次	4年次	計	備考
共通科目	国語	現代の国語	2	2●			2	(1)受講科目を計画的に選択することで3年間での卒業も可能。
		言語文化	2	2●			2	(2)●の科目及び総合的な探究の時間は必修。
		文学国語	4			4	4	(3)理科は選択必修科目で、◇から3科目以上を選択。
		国語表現	4			4	4	(4)○の科目は新入学時にどちらか一方を選択。
		古典探究	4			4	4	(5)芸術は選択必修科目で、△から1科目以上を選択。
	地理歴史	地理総合	2			2●	2	(6)体育は□から選択し、卒業までに7単位以上必修。上限は12単位。同一年度内に②③を同時履修することはできない。
		歴史総合	2	2●			2	(7)「数学入門講座」・「英語入門講座」は学校設定科目。
		日本史探究	3			4	4	(8)理科制で運用するので類型は設けない。
		世界史探究	3			4	4	(9)卒業に必要な単位数は74単位以上とする。
	公民	公共	2	2●			2	(10)教務内規に従って高等学校卒業程度認定試験でこの表にある科目に合格した場合、当該科目の標準単位数を本校の単位として認定できる。
		倫理	2			2	2	
		政治・経済	2			2	2	
	数学	数学Ⅰ	3		3●		3	※この表は新入学をした生徒を対象にしたものである。 ※転編入をした生徒は前歴校等での科目の単位修得状況によって修得すべき科目の条件が異なる場合がある。 ※転編入をした生徒は卒業までに満たすべき特別活動時数が異なる場合がある。
		数学Ⅱ	4			4	4	
		数学A	2			2	2	
		数学B	2			2	2	
		数学入門講座	3	3			3	
	理科	物理基礎	2			2◇	2	
		化学基礎	2	2◇			2	
		生物基礎	2	2◇			2	
		地学基礎	2			2◇	2	
	保健体育	体育②	7～8	2□	2□	2□	2□	7～12
		体育③		3□	3□	3□	3□	
		保健	2	2●			2	
	芸術	音楽Ⅰ	2			2△	2	
美術Ⅰ		2			2△	2		
書道Ⅰ		2			2△	2		
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	○3●			3		
	英語コミュニケーションⅡ	4			4	4		
	論理・表現Ⅰ	2			3	3		
	英語入門講座	3	○3			3		
家庭	家庭総合	4		4●		4		
情報	情報Ⅰ	2			2●	2		
専門科目	商業	ビジネス基礎	2～4			3	3	
		ビジネス・コミュニケーション	2～4			3	3	
		ビジネス法規	2～4			3	3	
		簿記	2～4			4	4	
	家庭	消費生活	2～4			3	3	
		保育基礎	2～8			3	3	
		フードデザイン	2～8			3	3	
特別活動	30単位時間以上	10以上	10以上	10以上	10以上			
総合的な探究の時間		3～6	3●				3	
登録可能な単位数の上限			26	30	30	30		

※1年次（0～13単位を修得しているもの）2年次（14～27単位を修得しているもの）3年次（28単位以上修得していて、その年度に卒業条件を満たす見込みのないもの）4年次（その年度に卒業条件を満たす見込みのあるもの）
 ※●は必修科目。◇・△・□は選択必修科目。無印は選択科目。

第三章 進路について

1 進路相談

本校を卒業することが見込まれば、さまざまな進路先の受験資格が得られます。進学・就職や資格取得など進路に関することは、ホームルーム担任や進路指導課に相談してください。進路選択の参考となる各大学・短大・専修学校の募集要項や入学案内、各種受験雑誌や進学ガイドブック類、「高校卒業程度認定試験（高認）」や就職関係の資料が備えてありますので、閲覧を希望する人は申し出てください。また、旭陵校舎 1 階～2 階南階段の進路掲示板をよくみるように心がけてください。なお4年次生を対象にした「進路説明会」を6月に実施します（詳しくは「HR伝達」や「月報」で連絡します）出席できるように予定してください。

2 証明書の発行について

就職や大学・短大・専修学校の出願には、「調査書」や「成績証明書」などが必要です。必要とする日の1週間以上前にホームルーム担任に申し出てください。「単位修得証明書」や「単位修得見込証明書」の発行についても同様です。

3 進学について

(1) 大学・短期大学（一部・昼間部）

大学や短大に進学を希望する人は、学校の勉強に加えて受験勉強が必要です。さまざまな受験雑誌や各大学のパンフレットなどをよく調べ、早めに志望校を決めることが大切です。その際に自分の適性或能力をよく考えて選択して下さい。ホームルーム担任や進路指導課に相談するとともに、校外模試などを積極的に受験して自分の学力をよく把握してください。

(2) 推薦入試

大学や短大・専修学校への推薦を希望する人は、所定の期日までに本校所定の「推薦願」をホームルーム担任に提出してください。その後、推薦委員会で審議のうえ、推薦の可否を決定します。

推薦されるには、成績その他が大学等の推薦基準に合うことが必要です。また本校の出席状況やレポートの提出状況なども考慮します。

指定校推薦・専願推薦入試の場合は合格の可能性は高くなりますが、合格後の変更や辞退はできません。

(3) 通信制大学・短大

大学・短大の通信教育部は、卒業後の資格などは通学制の大学となんらかわりません。印刷教材等による授業・面接指導・放送による授業・メディアを利用した授業などを組み合わせて学習が進められ、この形態は学校によって異なります。

(4) 社会人入試

勤労者や主婦を対象に社会人入試をしている大学が多数あります。成績や年齢・勤務状況など学校によってさまざまな条件が付けられています。希望する人は、早めに資料を取り寄せた上でホームルーム担任や進路指導課に相談してください。

(5) 専修学校（通称 専門学校）・各種学校

専修学校や各種学校は、各種の資格を取得したり、専門的な職業に就くための学校です。したがって自分の適性・将来の職業をよく考えて学校を選択しなければなりません。また入試の内容はさまざまですので、学校の選択についてはよく研究してください。なお、看護専門学校など医療系の学校は大学や短大並みの受験勉強が必要です。

4 就職について

(1) 一般企業への就職

卒業見込者（4年次生）で就職を希望する人は、学校から名古屋中公共職業安定所（ハローワーク名古屋中・学卒部門）に新規学卒者として就職斡旋を依頼することができます。就職希望者は6月に実施する進路説明会に必ず出席してください。

(2) 公務員試験

公務員試験の受験を考えている人は、**募集要項や願書はすべて自分で取り寄せてください。**また**出願も各自で行ってください。**募集要項は、地方公共団体の広報やHPなどに掲載されます。公務員試験に合格するためには市販の問題集などを使用するなどして相当な受験勉強が必要です。

受験案内書、受験申込み用紙の請求先

試験を受けるためには、各自治体の人事委員会が作成した所定の申込み用紙で申込みなければなりません。また、受験案内書にはその年の実施要項が細かく説明されていますので、早めに取り寄せてください。

請求先は、各自治体の人事委員会やサービスセンターなどです。直接訪れるのが最善ですが、郵便で請求する場合は、事前に電話で問い合わせてください。封筒の表に「初級試験申込用紙請求」であったり「Ⅲ類申込書請求」または「高校卒程度」と赤字で書き、切手をはった返信先明記の返信用封筒を同封する方法が多いようです。

受験申込みの受付期間

地方公務員採用試験は、各自治体の人事委員会で行っているために、受験申込みの受付期間は統一されていません（国家公務員採用試験は統一日です）。早いところで6月中旬から、遅いところで9月中旬からです。

受付期間に申込みが間にあわなければ受験できませんので、受験希望者は5月になったら自分が受験する**各自治体の人事委員会へ問い合わせる**ようにしてください。

第四章 特別活動と学校生活

高等学校では教科の学習とは別に、特別活動にも参加することが必要です。

特別活動には、ホームルーム活動、学校行事、生徒会活動の3つがあります。

1 特別活動

(1) ホームルーム活動

面接指導日の6時限終了後にLT（ロングタイム）を実施します。

（学年ごとの目標）

1年次生—— 仲間を知り、よりよい学習の場を作る。

2年次生—— 学ぶことの意義を考え、人生の指針を確立する。

3年次生—— 学習の充実をはかり、校内活動の中心的役割を果たす。

4年次生—— 学校生活を振り返り、より良い人生を探求する。

(2) 学校行事

学校行事には、入学式・卒業式・在校生出校日・新転編入生のオリエンテーションや生活体験発表会・学校祭などの全員が参加して行う行事と、修学旅行・林間学校・スノーボード学校など、目的によって希望者を募集して行う行事とがあります。卒業するまでに、できるだけ多くの行事に積極的に参加してください。

(3) 生徒会活動

全校生徒が、民主的な自主活動をとおして、お互いの理解を深め、明るい学校生活を築きあげていくことを目的として、学校祭・生徒総会・東海四県交歓会への参加などを行います。詳細については生徒会会則（p.48～p.51）を見てください。

(4) 特別活動出席時数の取り扱い

卒業するまでに30時間（転編入生徒はp.14を参照のこと）の出席が必要です。各年次に合計10時間を目標にして出席するようにしましょう。特別活動の出席時数として計算するものは次の表に示してあるもので、それぞれ認定する出席時数は決まっています。よく考えて不足しないように参加してください。

特別活動の時間補充は、4年次生のうち特別活動の出席時数が不足するために卒業できなくなる生徒に限り、卒業までに必要な特別活動出席時数の10分の6を限度に行います。ホームルーム担任に相談してください。ただし、特別活動の時間補充をしても卒業できない生徒は対象となりません。

特活時数取り扱い一覧

行 事	認定時数	対 象
LT（年間16回）	16	全員
在校生出校日	2	在校生全員
入学式	2	新入生・転編入生
入学式手伝い	2	希望者
オリエンテーション	2	新入生・転編入生
夏季宿泊面接指導（林間学校）	2	希望者
宿泊面接指導（修学旅行）	4	2～4年次生希望者
学校祭	2※	全員
冬季宿泊面接指導（スノーボード学校）	2	希望者

宿泊を伴う行事は実施されない場合があります。

※午前または午後だけの参加は1時間

(5) LT年間計画表

X1	ホームルーム	X5	ホームルーム
※Y1	離任式	Y5	ホームルーム
X2	ホームルーム	X6	ホームルーム
※Y2	生徒総会	Y6	ホームルーム
X3	ホームルーム	X7	ホームルーム(受講登録説明)
Y3	ホームルーム	Y7	ホームルーム(受講登録)
X4	防災訓練	X8	ホームルーム(受講登録)
※Y4	校内生活体験発表会	Y8	ホームルーム(受講登録)

① ※印は体育館で実施します。

② z 面接指導日および試験の日にはLTは実施しません。

2 学校生活における諸注意

出校日には、主として旭丘高校の校舎を使用します。そのため、校舎の使用に伴う心得は、旭丘高校の規則に従います。次の注意事項を必ず守ってください。

(1) 登下校

- ① 自動車通学は禁止です。通学の際は、公共交通機関を利用してください。身体的な事情等特別な場合は考慮することがあります。原付・自動二輪で通学する場合は、在校生手続セットまたは入学式書類セットにある通学届を出してください。各自交通法規を遵守してください。

(2) 校内生活

① 「HR伝達（ホームルーム伝達）」を読むこと。

使用教室の変更や、その他の大切な連絡があります。

② 面接指導日には、LTに出席すること。

各ホームルーム教室でホームルーム担任より出欠の確認や連絡など諸指導をうけてください。また、体育館にて合同で実施する場合があります。

③ 部活動に参加しよう。

部活動は、趣味や教養を養い、心身の健康を助長し、協力の態度を培うことを目的に、生徒が主体的に活動するものです。詳細については活動規定(p.51～p.52)を見てください。

④ 所持品の管理は各自でしっかりと。

多額の金銭や貴重品は持参しないでください。

所持品には記名するなど、各自でしっかりと保管してください。

体育や部活動の時間には、貴重品は必ず携行し、決して教室などに放置しないでください。

⑤ 気持ちよく学校生活を送れるよう、次のマナーを守ってください。

※いじめ、暴力、脅迫など、人の権利を力で奪うような行為は絶対にいけません。

※20歳未満の人の飲酒は法律で禁止されています。20歳を越えた人でも学校生活での飲酒は禁止です。

⑥ 旭丘高校の備品などに手をふれないでください。

旭丘高校の備品などに手をふれたり、使用したりしないでください。また、教室の椅子や机を勝手に移動させないでください。やむをえず、移動させた場合は、使用した人で、必ずもとにもどしておいてください。

⑦ 気分が悪くなったら、保健室へ！

学校の中で負傷したり、気分が悪くなったりした場合は、保健室（旭陵校舎 1 階）へ連絡してください。なお、内服薬は常置されていませんので、持病のある人は、薬を持参してください。

⑧ 健康上要配慮事項がある人は、ホームルーム担任に申し出てください。

持病のある人、現在医師にかかっている人など、健康上の要配慮事項がある人は、ホームルーム担任に申し出てください。

⑨ 「相談室」・スクールカウンセラーの利用を！

からだや心の悩みだけでなく、勉強・仕事等の悩みのある人が個人的にスクールカウンセラーと面談ができるように「相談室」を設けています。場所は旭陵校舎 3 階生物地学準備室の中です。スクールカウンセラー来校の日は「月報」または「HR 伝達」で連絡します。

(3) 次のような場合には、ホームルーム担任に早急に届け出てください。

- ① 交通事故にあったり、交通事故を起こしたとき。
- ② 家族に不幸があったり、災害にあたりしたとき。
- ③ 氏名・住所・勤務先・電話番号を変更したとき。
- ④ 転学、退学、学習中断しなければならない事態が生じたとき。
- ⑤ 校内でグループ活動等をするとき。
- ⑥ 保証人、保護者の変更が生じたとき。

3 学 校 行 事

学校行事には、次のような行事があります。可能な限り参加をしてください。

行 事 名	実施期日	行 事 内 容	対 象
新・転・編入学者 オリエンテーション	4月21日	その年度に入学した生徒に対し、学習方法や学校生活について説明をする大切な行事です。	新・転・編入 学者全員
校内生活体験発表会	7月7日	本校に学ぶ生徒の生活体験を発表する会です。発表の優秀な生徒は、県・中部・全国大会に出場する道が開かれています。自分の生活を振り返るよい機会です。	全員
夏季宿泊面接指導 (林間学校)	7月13～14日	野外活動を通して、自然に親しむとともに、団体生活における社会的態度を養う機会です。(乗鞍高原)	希望者 (約30名)
宿泊面接指導 (修学旅行)	9月23～24日	古都、京都の歴史や文化に触れ、理解を深めることを通して、学校生活をともにした生徒同士や教員との親睦を深めます。	2～4年次 生の希望者
東海四県交歓会	10月27日	東海四県下の7校の通信制高等学校の生徒会執行部を中心として、希望者を募って、交流や親睦をはかる会です。	生徒会執行 部及び希望 者
学校祭	11月10日	全体会と発表展示が柱となっています。希望する部活動・クラス・有志・個人がその発表単位となります。模擬店なども出ています。	全員
冬季宿泊面接指導 (スノーボード学校)	1月31日～2月1日	スノーボードの実習を通して、自然に親しむとともに、団体生活における社会的態度を養う機会です。(ひるがの高原)	希望者 (約25名)

宿泊を伴う行事は実施されない場合があります。

注：上記以外に、在校生出校日・入学式・離任式・生徒総会・卒業式などがあります。

4 「日本スポーツ振興センター」及び「愛知県公立高等学校PTA連合会見舞金」の利用

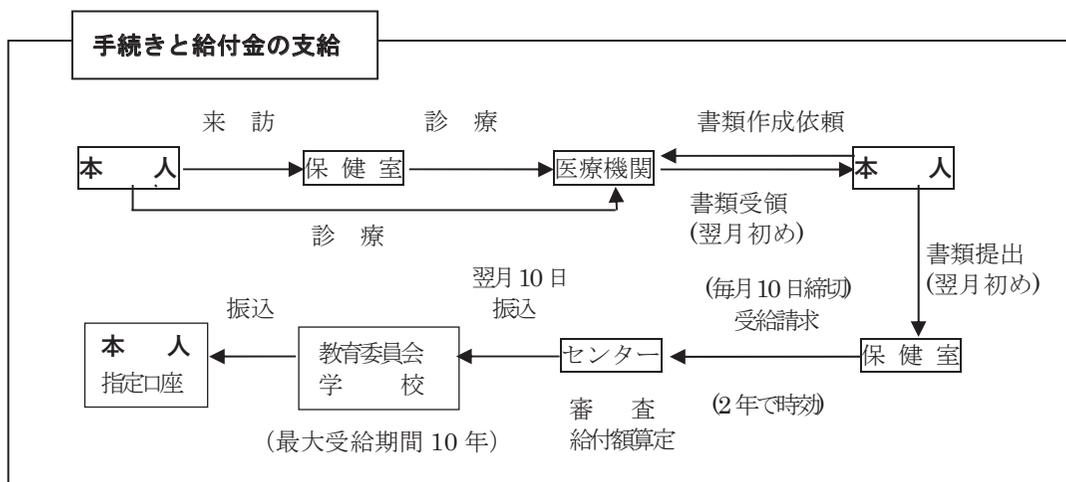
面接指導日の教科指導や学校行事・課外活動などで、また、通常の経路・方法での通学途中で、負傷や病気になって医療機関にかかった場合は、「日本スポーツ振興センター」や「愛知県公立高等学校PTA連合会」から、医療費の一部が支給されます。

学校での負傷については、その時はたいしたことがないと思っても、必ず保健室へ来て手当てを受けるか、医療機関で診療してもらうようにしてください。医療費は、下のような手続きをすればその一部が後日給付されます。

給付を受けるためには

1. 該当の災害が起きたら、必ず保健室に連絡してください。その時に手続きのしかたを説明します。
2. 災害発生後、少なくとも**3日以内**に医師にかかってください（できるだけその日に）。3日以上経過していても手続きが複雑になりますが、給付されないわけではありませんので、医師にかかったときはその旨報告してください。
3. 手続きに必要な書類は、各月の月初めに保健室へ提出してください。また災害発生から**2年間**、センターに請求を行わないと、給付を受ける権利は時効によって消滅します。
4. 医療費のセンターからの給付は、**初診から最長10年**で打ち切られます。
5. 医療費総額（請求額）が**5,000円未満**の場合は支給されませんので、個人負担となります。

その他に、センターからの障害見舞金等や愛知県公立高等学校PTA連合会からの見舞金（死亡・障害・治療）の給付が受けられる場合がありますが、障害や治療の見舞金を受けるためには、まずセンターから医療費の給付を受けていることが前提となりますので、該当者には係から連絡します。



5 生徒会

(1) 生徒会会則

第1章 総 則

第1条 本会は旭陵高等学校生徒会と称する。

第2条 本会は本部を旭陵高等学校職員室に置く。

第3条 本会は、教員の助言のもとに自主活動を通して、生徒相互の理解親睦と、教養を高め、学校生活を楽しく規律正しいものにするを目的とする。

第4条 本会は、前条の目的を達成するために下記の活動を行う。

1. 学校生活の改善や福祉向上を図る運動
2. 学校行事に対する協力参加
3. 機関誌の発行
4. その他、目的を達成するための諸行事

第2章 運 営 組 織

第5条 本会は、旭陵高等学校生徒を会員とし、教員を顧問とする。

第6条 本会の活動に必要な経費は、会費その他をもってあてる。

第7条 本会の自主的な運営を円滑に推進するため、下記の委員会及び役員を置く。

1. 執行委員会 生徒会長1名、副会長1名、書記1名、会計1名、
運動部担当委員1名、文化部担当委員1名、HR担当委員1名
2. 代議員会 各クラス代議員2名
3. 専門部会 各部長
ア. 2・3の委員会は適時開催する。
4. 選挙管理委員 委員2名
5. 会計監査委員会 委員2名

第8条 役員の任期は当該年度4月から3月までとし、再任を妨げない。

第3章 執 行 委 員 会

- 第9条
1. 執行委員会は執行機関であり、第7条に定める執行委員会及び議決機関の代表である議長をもって構成する。
 2. 執行委員は、選挙または信任投票によって選出され、生徒総会の信任を得て決定

する。

第10条 執行委員会は、必要に応じて生徒会長が招集する。

第11条 執行委員会は、代議員会等の各委員会及び総会の決議事項並びに緊急事項を処理執行する。

第12条 生徒会長が事故等の場合は、副会長がこれを代行する。

第4章 代議員会

第13条 1. 代議員会は総会につぐ議決機関であり、代議員並びに執行委員で構成する。
2. 代議員は各クラスから2名選出する。なお、代議員が執行委員に選出された場合は、当該クラスから補充する。

ただし、HR委員がこれを代行することもできる。

第14条 代議員会は、必要に応じて適時開催する。

第15条 1. 代議員会は生徒会長が招集する。
2. 議長・副議長は第1回代議員会で選出する。また、議長が事故等の場合は副議長に代行能力は与えられず、新規に互選する。

第16条 代議員会の任務は下記の事項とする。

1. 生徒会活動の企画並びに決定
2. 予算審議及び年間活動方針の決定
3. HR活動の報告及び連絡
4. 表彰等に関する事項の実施

第5章 専門部会

第17条 1. 専門部会は各部の部長で構成する。
2. 部長・副部長とも、各部より各1名選出する。

第18条 専門部会は必要に応じて執行委員会がこれを招集する。ただし、年度始めと年度末には必ず招集する。

第19条 専門部会では、主に部予算の承認及び活動内容の報告を行う。

第6章 選挙管理委員会

第20条 1. 生徒会役員選出のために選挙管理委員会を設置する。
2. 本委員会は、委員2名で構成されるが、選出は代議員の互選が望ましい。

第21条 本委員会の任務は下記の事項とする。

1. 立候補の受け付け
2. 選挙の告示
3. 投票及び開票の管理
4. その他、選挙及び信任投票に関する必要事項

第7章 会計及び会計監査委員

第22条 会費は会員1人につき、年額1,500円とする。

- 第23条 1. 会計監査は必要に応じて会計監査委員が行い、生徒総会で前年度の収支決算を報告する。
2. 会計監査委員は2名設ける。その選出は代議員の互選が望ましい。

第24条 会計年度は、4月1日から3月31日までとする。

第8章 生徒総会

- 第25条 1. 生徒総会は本会の最高の議決機関であり、定期総会を年1回開催し、(次期)執行部の成立その他を審議する。
- ただし、必要に応じて生徒会長が代議員会の承認を得て、これを招集することができる。
2. 生徒会長は、会員の1/5以上の請求があった場合は総会を招集しなければならない。なお、この際の総会の名称は、臨時総会とする。

第26条 下記の事項についての議決承認は、必ず総会に付議しなければならない。

1. 執行委員の信任
 2. 規約の改正
 3. その他、代議員会で必要と認められた事項
- ア. ただし、前年度決算報告及び年間行事報告は、生徒総会での審議にゆだねる。

第9章 議 決

- 第27条 1. あらゆる議事は、出席者の多数をもって議決される。
2. 可否同数の場合は、議長がこれを決定することができる。
3. 執行委員は、総会及び代議委員会等の議決に参加できない。
4. 代議員会の議決は各クラス1票とし、他の委員会の議決もこれに準ずる。また、専門部会での議決は各部1票とする。
5. すべての議決は学校長の承認を得て成立する。

附 則

第 28 条 本会会則の改正は、代議員会より総会に提出され、承認されたのち学校長の許可を得て成立する。

第 29 条 本会会則は、昭和 48 年 4 月から効力を発する。

昭和 55 年 4 月 一部改正施行

昭和 59 年 4 月 一部改正施行

昭和 61 年 4 月 一部改正施行

平成 2 年 4 月 一部改正施行

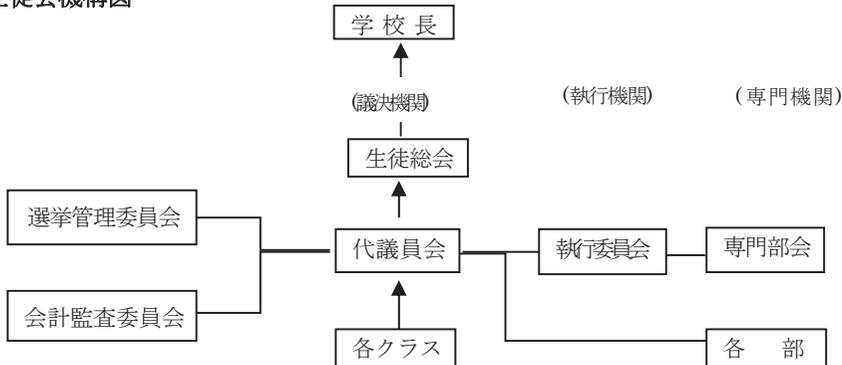
平成 7 年 4 月 一部改正施行

平成 12 年 4 月 一部改正施行

平成 15 年 4 月 一部改正施行

平成 22 年 12 月 一部改正施行

(2) 生徒会機構図



(3) 部活動規定 (抜粋)

1. 方針

部活動は、面接指導の時間外において、健全な趣味や豊かな教養を養い、個性の伸長を図り、心身の健康を助長し、集団生活において協力していく態度を培うことを目的とした、生徒の自主的活動とする。

2. 部活動一覧

① 部活動として活動できるのは、以下の部とする

文化部—手芸、映画研究、美術、写真、書道、茶華道、(ボードゲーム同好会)

運動部—テニス、バドミントン、サッカー、卓球、陸上競技、ソフトボール

3. 登録及び変更など実施要項

① 生徒は、いずれかの部に所属することができる。

- ② 複数の部に所属することができる。
- ③ 4月当初に登録を行う。
- ④ 年度途中における所属部の変更及び加入は、顧問の同意があれば認める。

(4) 生徒会慶弔規定

- 1 項 本規定は愛知県立旭陵高等学校在籍の生徒のみとする。
- 2 項 本規定は該当する事項は次のとおりとする。
 - 1. 会員の死亡（花代・香典合わせて10,000円）
 - 2. 会員の直系一親等（親・子）の死亡（香典3,000円）
 - 3. 災害（流失・全壊焼・半壊焼）その他については代議員会等で協議する。
- 3 項 本規定に該当するものは、すみやかに担任へ届け出をしなければならない。

6 特別警報発表時の対応について

◎特別警報とは…数十年に一度の大雨、強度の台風、積雪等が予想される場合に発表されるもので、「大津波警報」「噴火警報」「緊急地震速報（震度6弱以上）」も特別警報として位置づけられます。

特別警報の対応の原則は、「ただちに命を守る行動をとる」ことです。

(1) 大雨特別警報や緊急地震速報（震度6弱以上）が発表されている場合は、

面接指導や学校行事等をおこないません。

ア 在宅時に発表された場合は、登校しないでください。

イ 登下校途中に発表された場合は、原則として帰宅してください。

（ただし状況によっては学校または最寄りの避難所に避難してください。）

ウ 学校にいるときに発表された場合は、担任・学校の指示に従って行動をし、帰宅経路の安全が確認された後に帰宅することになります。

（参考）登下校中に大きな地震の揺れを感じた場合の対応について

①周囲の状況を十分に確認して、「落ちやすいもの」「倒れやすいもの」「移動しやすいもの」から離れてしゃがむ。

②バッグなどで頭を守る。

- ・屋根瓦、外壁、ガラス、看板の落下に注意するとともに、ブロック塀、電柱、電線、自動販売機からできるだけ離れる。崖・山崩れ、堤防決壊、液状化現象などにも注意が必要で、崩れやすそうな場所や水のそばからできるだけ離れる。

- ・自転車に乗っていたらすぐに降りる。

- ・橋や歩道橋の上にいる時は、動けるのなら早く渡りきる。

- ・バス・電車に乗っている時は、棚から荷物が落ちてこないか確認する。

※大規模な災害時は「むやみに移動を開始しないこと」が重要です。最寄りの安全な場所へ移動したら、まずは混乱が収まるまで待機しましょう。「遠くの自宅より近くで待機」です。

(2) 特別警報の発表がなく南海トラフ地震等激甚災害が発生した場合は、休校措置や面接指導等再開について学校が「災害用伝言ダイヤル」に録音しますので、それを聴いてください。

(3) 学校の再開は、以下のようにします。

ア 特別警報の解除が伝えられた場合は、原則として次回登校日から再開します。

イ 大規模地震等激甚災害が発生した場合は、休校措置や面接指導等再開について学校が「災害用伝言ダイヤル」に録音しますので、それを聴いてください。

※学校ホームページが稼働可能な場合は同様の内容をホームページにも掲載します。

(4) 「災害用伝言ダイヤル」を利用してみなさんと学校の情報を交換します。

「災害用伝言ダイヤル」とは、大規模な災害が発生した場合に運用されるシステムで、安否・居場所などを知らせるメッセージを30秒以内で録音・保存できる声の伝言板です。

- 【利用方法】
- ①「171」へ電話をかけ、音声案内に従って市外局番からはじまる自宅の電話番号などをダイヤルして伝言を吹き込みます。
 - ②録音された伝言を聴く場合は①と同様に「171」に電話をかけ、案内に従ってダイヤルすれば全国どこからでも聞き取れます。
 - ③伝言の保存期間は2日間です。録音・保存できる伝言は被災の範囲や被害の大きさによって設定されますが、数件から最大10件となります。
 - ④伝言の録音・再生とも通話料以外の料金は必要ありません。携帯・公衆電話からも利用可能です。電話が混雑している場合は、災害時優先電話である公衆電話から利用できます。ただし平常時は運用していません。

ア 生徒・保護者が休校措置・面接指導等再開などの決定及び伝達を聴く場合

学校の電話番号を暗証番号とします。

「171」→「2」→ 暗証番号 [052-721-5371] → 再生
学校の電話番号

○文例 「旭陵高校です。○月○日現在の情報です。学校も被害を受けしばらく休校とします。当面の間、自宅または避難している場所で待機してください。また、学校があなたの安否を確認できるように、あなたの自宅の固定電話番号を暗証番号として伝言ダイヤルに録音するか、電話が復旧したら安否について学校まで連絡してください。」

イ 生徒・保護者が自分と家族の安否、住居被害状況や現在避難している場所などの情報を録音する場合

自宅の固定電話番号(学校に届け出ている番号)を暗証番号としてください。

「171」→「1」→暗証番号 [自宅の固定電話番号 市外局番から] → 録音
注意 携帯電話の番号は利用できません (30秒以内)

○文例 「クラス1A、生徒番号54○○○、「旭陵太郎」本人です。自分も家族も無事ですが、自宅は被害を受けて、○月○日現在、△△△(避難している場所や住所など)に避難しています。」

第五章 修学支援・施設の利用・同窓会・その他

1 修学支援

(1) 教科書・学習書購入代金の還付

在校生出校日または入学式当日に購入した教科書・学習書の代金が次の条件で後日還付されます。詳細については、事務室で配布する申請用紙を参照してください。

【還付条件】(一部抜粋)

- ・定職に就いている。(病気で就業できない場合も含む。)
- ・生活保護における高等学校就学費用を受給していない。

※ 前年度以前に同じ科目を履修している場合は対象になりません。

(2) 乗車運賃の割引(学割証の発行)

学校学生生徒旅客運賃割引証(通称:学割証)の発行は、①通学用(割引回数券購入用)②旅行用(割引乗車券購入用)の2種類があります。

※特科生に学割証は発行できません。

① 通学用(回数券)

JR(バスは除く)、名鉄電車及び近鉄電車を利用して通学する場合は、学割証利用により割引回数券(5割引)が購入できます。

※ 利用できる区間・・・自宅から旭陵高校までの最寄り駅区間内

通学以外の利用には発行はできません。通信教育の出席日数に応じた枚数(年6回の申請が上限)が発行できます。

☆割引回数券を購入できる駅

JR・・・大曾根、金山、名古屋など

名鉄・・・大曾根、金山、名古屋、上飯田、日進のみ

近鉄・・・名古屋、蟹江、桑名など

② 旅行用(片道100kmを超えるもの)

JR(バスは除く)及び近鉄電車を利用し、帰省・就職・受験・保護者旅行随伴などの目的で片道100kmを超える区間を乗車する場合は、学割証利用により割引乗車券(2割引)が購入できます。

申請をする場合、申請書に記入の上、クラス担任の先生に確認の印を受けてから事務室へ提出してください。

※ バス・航路・その他私鉄は割引制度に該当するかを調べてから申し込みをしてください。

注意1 学割証の申請は、面接指導日の午前中に事務室へ申請用紙を提出してください。

午前中に提出されたものは午後発行します。午後提出されたものは当日中の発行とならない場合があります。

2 学割証により割引乗車券を購入する場合、学生証の提示が求められます。また、乗車中に係員から請求があるときは、学生証の提示をしなければなりません。

3 学割証の申請は、在校生は在校生手続日（4月3日）から、令和6年度新・転・編入生は入学生手続日（4月10日）から受け付けます。

ただし、学割証の交付は、在校生は4月7日（日）の在校生出校日、新・転・編入生は4月14日（日）の入学式になります。

4 令和6年度の通学用学割証の最終発行日は、令和7年2月16日（日）の追認指導日となります。

(3) 定時制・通信制課程修学資金貸与

対象および資格 経常的収入を得る職業に就いていて、経済的理由により著しく修学が困難である者（所得制限有り）で独立行政法人日本学生支援機構から学資の貸与、高等学校等奨学金貸与を受けていない者。

貸与額 月額 14,000 円程度（令和5年度新入生の場合）

返還について 卒業すれば返済は免除されますが、貸与の要件を欠く（離職や退学等）場合は全額返済することになります。

応募期間 5月下旬～6月初旬（5月中旬以降の「HR伝達」に案内を載せます。）

(4) 育英制度

育英制度として、愛知県高等学校等奨学金制度（月額 11,000 円～23,000 円）、日本学生支援機構やあしなが育英会、阿部育英基金による奨学金などがあります。内容や条件はそれぞれ異なりますので、詳しくは奨学生担当者に問い合わせてください。

2 施設の利用

(1) 視聴覚教室の利用

視聴覚教室は旭陵校舎の4階にあります。ここのビデオ機器を利用したい人は、各教科・科目の担当教員に直接申し出てください。なお、備え付けの視聴覚機器に許可なく触れないようにしてください。

(2) 図書室の利用

図書室は旭陵校舎の1階にあります。ここには学習用図書や一般図書が多く備えられていますので、学習をすすめるためにも教養を身につけるためにも、これらの図書をおおいに利用されることをすすめます。

① 閲覧

- ア 開架式ですから自由に本を取り出して閲覧することができます。
- イ 閲覧し終わった図書は、分類記号に注意して必ずもとの場所にもどしてください。
- ウ 図書を室外へ持ち出すときは、必ず貸出の手続きをすませてください。ただし、禁帯出のラベルが貼ってある図書は、室外へ持ち出すことはできません。
- エ 開室時間は、面接指導日の日曜日・火曜日とも 9 時 00 分～16 時 00 分です。

② 貸 出

- ア 貸出の冊数 1 回に 3 冊まで（ただし、夏・冬休み前には 6 冊まで）
- イ 貸出の期間 次の面接指導日までです。
- ウ 貸出の手順 （係不在時は 2 階職員室へ）
 - a 借りたいと思う本をカウンターの係まで持って行きます。
 - b 本の裏表紙内側のポケットに入れてあるブックカードを取出し、学年・組・氏名を鉛筆で記入して提出します。

ブックカード

それぞれの本についています。

年 (年)	組 (組)	氏 名 (姓 名)	貸出日 (貸し出し日)	返却予定日 (返す予定日)	返却日 (返した日)

ここに鉛筆で記入して借りてください。

エ 返却の手順 （係不在時は 2 階職員室へ）

- a カウンターの係に学年・組・氏名を言って、本を提出します。
- b ブックカードに記入してある学年・組・氏名を消しゴムで消します。
- c ブックカードをポケットにおさめ、本を書架のもとの位置にもどします。

③ 注意事項

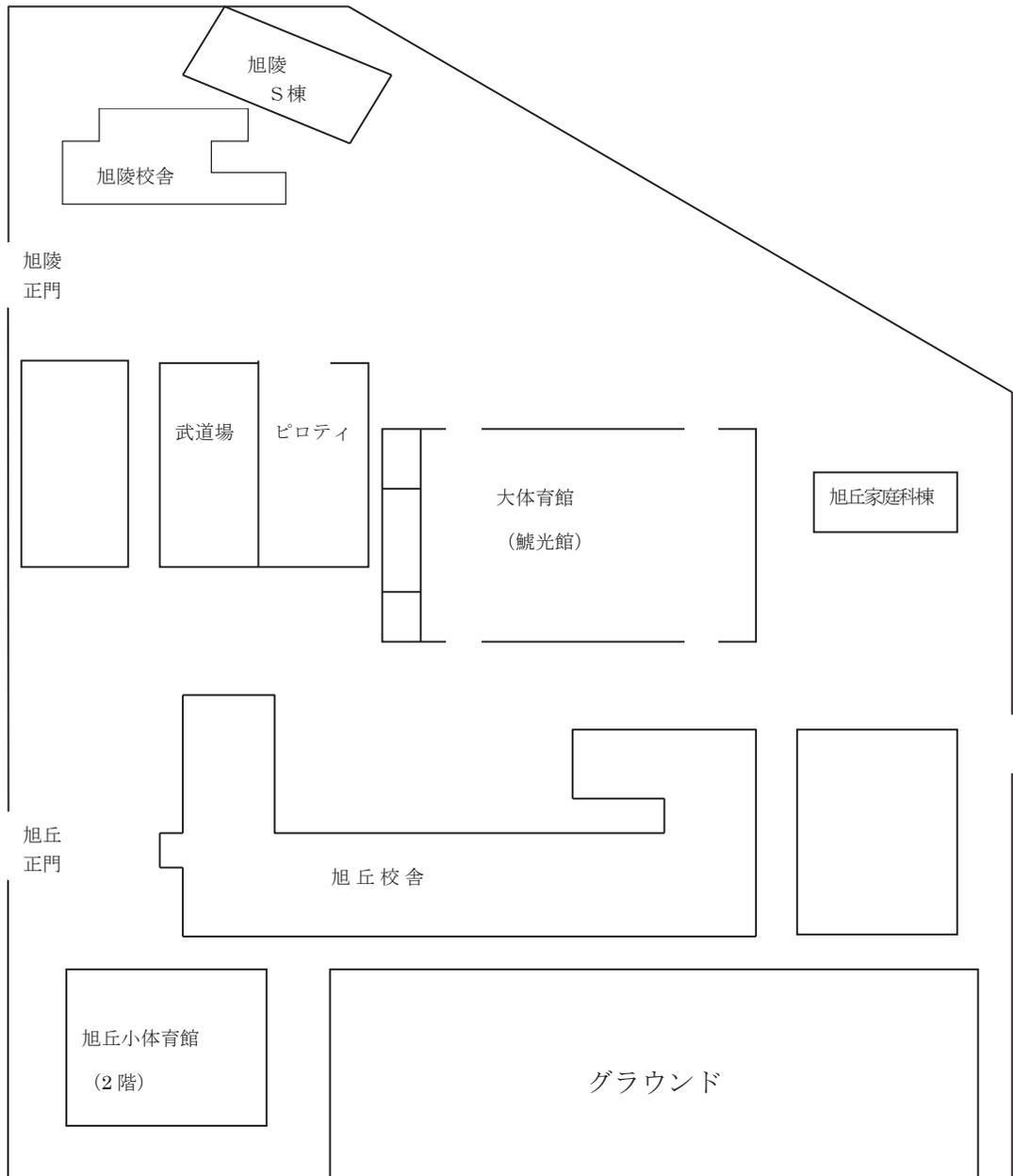
- ア 貸出期間を守ってください。長く借りたい時は、延長手続きをしてください。
- イ 本に折目をつけたり、指を舌でぬらしてページをめくったり、飲食しながら本を読まないでください。（図書室内での飲食は厳禁です）

3 同窓会

本校卒業生のための同窓会組織として旭陵会があります。旭陵会は年一回の総会の開催のほか、卒業年度ごとに同期会を開催して会員相互の親睦をはかり、併せて旭陵高校の発展に寄与することを目的としています。

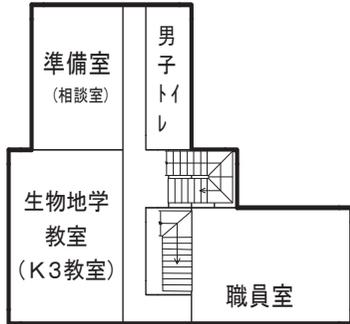
校舎配置図

1. 校舎・敷地内は全面禁煙です。
2. 自転車・原付は指定された場所に置いてください。
3. 道路は駐車厳禁です。絶対に止めないでください。
4. 学校の周りの人々に迷惑になる行為は慎んでください。

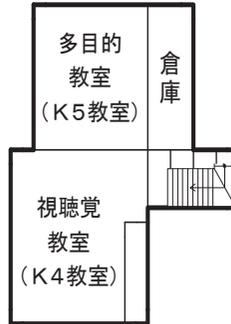


旭陵校舎

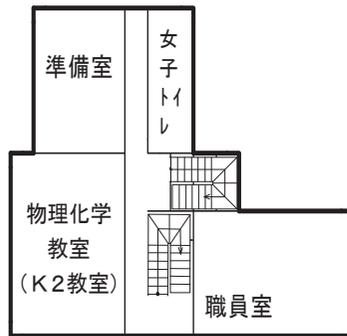
【旭陵校舎 3階】



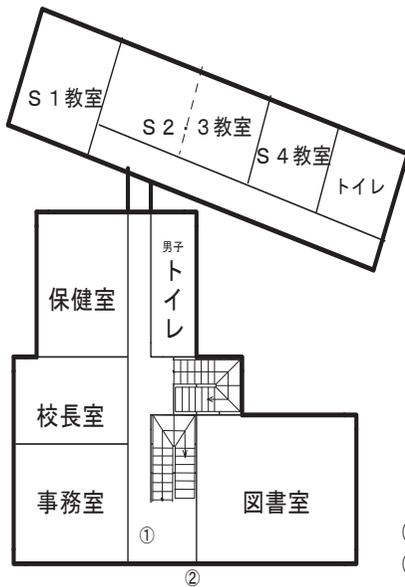
【旭陵校舎 4階】



【旭陵校舎 2階】



【旭陵校舎 1階】



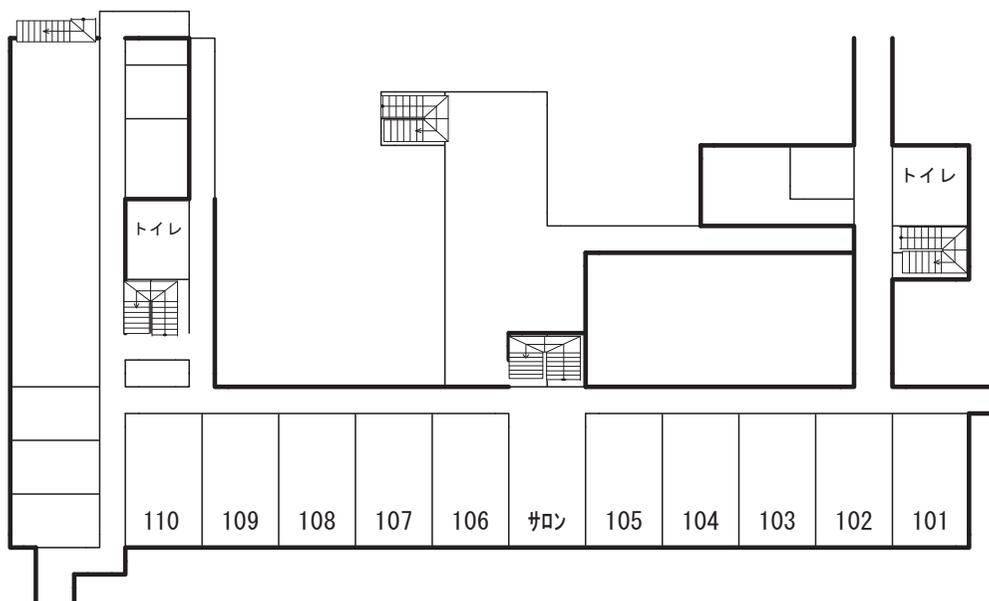
「S2・3教室」は、「S2教室」と「S3教室」に分割して使用することがあります。

- ① レポート投入口
- ② 夜間休日レポート投入口

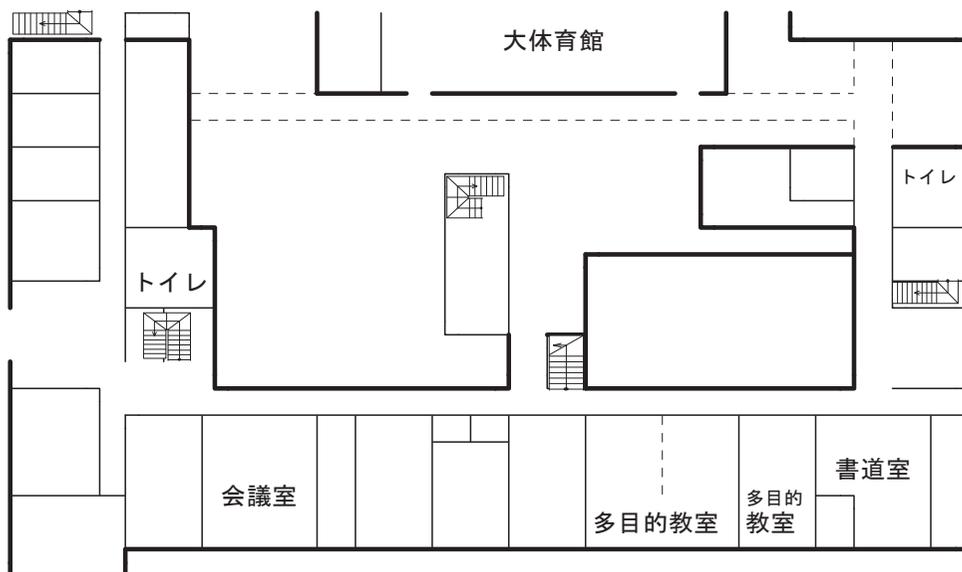
旭丘校舎（1・2階）

旭丘校舎のうち、旭陵高校が使用しない場所には立ち入らないようにしてください。

【旭丘校舎2階】



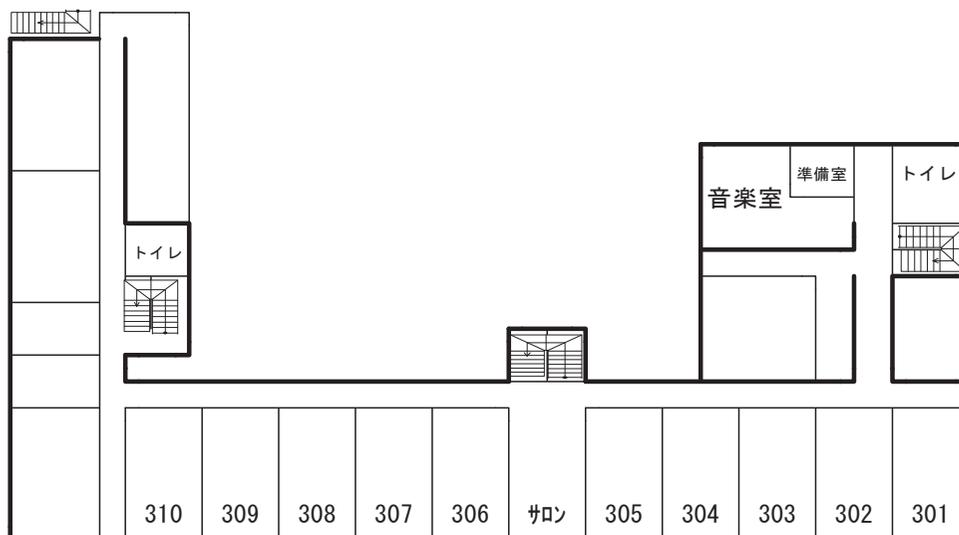
【旭丘校舎1階】



旭丘校舎（3・4階）

旭丘校舎のうち、旭陵高校が使用しない場所には立ち入らないようにしてください。

【旭丘校舎4階】



【旭丘校舎3階】



本校の沿革

昭和 23 年 2 月	愛知県第一中学校に通信教育部が付設される。
4 月 1 日	学制改革により愛知県立第一高等学校と校名を変更、実施科目は国語甲一・二、専任 2 名で発足する。
10 月 1 日	愛知県立第一高等学校は名古屋市立第三高等学校と統合し、愛知県立旭丘高等学校と校名を変更。
昭和 31 年 4 月	体育が実施科目に加えられ、卒業に必要な全科目が開講される。はじめて協力校が設けられ、半田、安城、足助、国府、新城の各県立高等学校が協力校となる。
昭和 34 年 3 月	この年度の卒業生 8 名。その内 2 名が、通信教育で全科目を履修したはじめての卒業生である。
4 月	協力校のうち足助高等学校が廃止され、豊田西高等学校が新しく協力校となる。
昭和 35 年 4 月	協力校のうち国府高等学校が廃止され、豊橋東高等学校が新しく協力校となる。
昭和 36 年 4 月	協力校のうち、半田、新城の各高等学校が廃止される。
10 月 31 日	学校教育法が一部改正され、通信制の課程となる。
昭和 38 年 4 月	教育課程が全面的に改正される。
昭和 40 年 4 月	この年から協力校のうち安城高等学校では第 1～第 4 年次の全科目、豊橋東、豊田西の各高等学校では第 1、第 2 年次の科目の面接指導を実施することになる。 卒業生 100 名を越える。(総卒業生 126 名のうち、通信教育で全科目を履修した卒業生 105 名)
昭和 41 年 3 月	通信制専用校舎が完成する。
昭和 42 年 4 月	協力校のうち豊橋東高等学校、豊田西高等学校が廃止され、安城高等学校に統合される。また、この年、三河地区生徒は新設の愛知県立刈谷高等学校通信制課程（現刈谷東高等学校）に入学することになる。
昭和 46 年 2 月	通信制課程は分離独立が認められる。
4 月 1 日	愛知県立旭陵高等学校が発足する。
11 月 14 日	開校記念式典が挙行される。
昭和 48 年 4 月	教育課程が改訂され、第 1 年次から順次実施する。
昭和 49 年 6 月	校舎の増築が完成する。
昭和 50 年 4 月	火曜日にも面接指導を実施することになる。
昭和 56 年 3 月	校歌制定される。
昭和 57 年 4 月	教育課程が改訂され、第 1 年次から順次実施する。
昭和 59 年 4 月	この年から大学入学資格検定合格科目の単位認定を実施する。
5 月	同窓会の呼称を「旭陵会」とする。
平成 元年 4 月	学校教育法が一部改正され、修業年限が 3 年以上と改められ、二期制を導入する。 普通教室が 4 教室増設。
平成 2 年 11 月 18 日	開校 20 周年記念式典が挙行される。
平成 6 年 4 月	教育課程が改訂され、第 1 年次から順次実施する。
平成 7 年 12 月	旭陵校舎の一部が改修される。
平成 12 年 11 月 5 日	30 周年記念式典が挙行される。
平成 15 年 4 月	教育課程が改訂され、第 1 年次から順次実施する。
平成 22 年 10 月 24 日	40 周年記念式典が挙行される。
平成 25 年 4 月	教育課程が改訂され、第 1 年次から順次実施する。
令和 4 年 4 月	教育課程が改訂され、第 1 年次から順次実施する。

住 所
氏 名
変 更 届

年 月 日

愛知県立旭陵高等学校長殿

学年・組 _____ 生徒番号 _____

氏 名 _____

(変更がある場合は、変更前の氏名)

保護者・保証人(変更がある場合に記入)

ふ り が な

月 日に _____ を下記のとおり変更しましたのでお届けします。

住 所
氏 名
記

新住所〒 (-) TEL () -

ふ り が な

変更後の氏名

*ここから下は何も記入しないでください

HR 担任確認用

- ・データシステム
- ・生徒個票
- ・指導要録
- ・2階その他 (改姓・改名のみ)

勤務先変更届

年 月 日

学年・組 _____ 生徒番号 _____

氏 名 _____

下記のとおり勤務先を変更しましたのでお届けします。

記

旧 勤 務 先 _____

新 勤 務 先 名 _____

新 勤 務 先 住 所 _____

勤 務 先 電 話 番 号 _____

緊急の場合 の連絡方法	
----------------	--

※ 勤務先への連絡は（可・否）

学習中断届

年 月 日

愛知県立旭陵高等学校長殿

学年・組 _____ 生徒番号 _____

氏 名 _____

下記により、2024（令和6）年度の学習を中断いたしますので、お届けします。

記

理 由					
連 絡 先	(住所) 〒 _____ 方 TEL _____				
備 考 (担任所見)	ここには何も記入しないでください。 <table border="1" data-bbox="1039 1392 1240 1499"><tr><td>担任</td><td></td></tr><tr><td>確認</td><td></td></tr></table>	担任		確認	
担任					
確認					

この届を提出するときは、事前にホームルーム担任と十分相談してください。
この届を提出しなかったり、学校からの連絡に応じない時は、除籍されることもあります。

学 習 中 断 届

年 月 日

愛知県立旭陵高等学校長殿

学年・組 _____ 生徒番号 _____

氏 名 _____

下記により、2025（令和7）年度の学習を中断いたしますので、お届けします。

記

理 由					
連 絡 先	(住所) 〒 _____ 方 TEL _____				
備 考 (担任所見)	ここには何も記入しないでください。 <table border="1" data-bbox="1039 1391 1240 1499"><tr><td>担任</td><td></td></tr><tr><td>確認</td><td></td></tr></table>	担任		確認	
担任					
確認					

この届を提出するときは、事前にホームルーム担任と十分相談してください。
この届を提出しなかったり、学校からの連絡に応じない時は、除籍されることもあります。

X面接指導日の時間割

		受講する講座に印をつけておきましょう。						
		1限 9:00~9:50	2限 10:00~10:50	3限 11:00~11:50	4限 12:40~13:30	5限 13:40~14:30	6限 14:40~15:30	6限終了後 15:35~
X1 (4月28日)	文学国語 古典探究	現代の国語、言語文化 国語表現	現代の国語、言語文化 古典探究	現代の国語、言語文化 文学国語				
							古典探究	
X2 (5月19日)			歴史総合 地理総合			地理総合		
				歴史総合 世界史探究	世界史探究	歴史総合		
X3 (6月9日)		日本史探究		日本史探究			日本史探究	
		倫理、政治・経済	倫理、政治・経済		公共		公共	
X4 (6月30日)				数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ		
							数学Ⅱ	
X5 (10月6日)								
			数学A、数学B					
X6 (10月27日)			数学入門講座	数学入門講座	数学入門講座			
X7 (11月17日)			化学基礎 生物基礎	化学基礎 生物基礎	化学基礎 生物基礎	化学基礎 生物基礎	物理基礎 化学基礎 生物基礎	
X8 (12月8日)			体育②③	体育②③	体育②③	体育②③	保健 音楽Ⅰ	
							音楽Ⅰ	
			美術Ⅰ		美術Ⅰ			
			書道Ⅰ		書道Ⅰ			
				英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーションⅠ	
				英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	
			論理・表現Ⅰ		論理・表現Ⅰ			
			家庭総合 保育基礎	英語入門講座 家庭総合 保育基礎	英語入門講座 家庭総合 保育基礎	英語入門講座 家庭総合 保育基礎	英語入門講座	
			ビジネス基礎		ビジネス基礎			
			ビジネス入門講座		ビジネス入門講座			
			簿記		簿記			
					情報Ⅰ		情報Ⅰ	
							ロングタイム	

Y面接指導日の時間割

		受講する講座に印をつけておきましょう。						
		1限 9:00~9:50	2限 10:00~10:50	3限 11:00~11:50	4限 12:40~13:30	5限 13:40~14:30	6限 14:40~15:30	6限終了後 15:35~
Y1 (5月5日)		現代の国語、言語文化		現代の国語、言語文化 文学国語	現代の国語、言語文化 文学国語	現代の国語、言語文化		
							文学国語	
Y2 (5月26日)			地理総合 歴史総合		地理総合 歴史総合	地理総合 歴史総合	地理総合 歴史総合	
Y3 (6月16日)		日本史探究		日本史探究			日本史探究	
		倫理、政治・経済	倫理、政治・経済		公共		公共	
Y4 (7月7日)				数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ		
							数学Ⅱ	
Y5 (10月13日)								
			数学A、数学B					
Y6 (11月3日)			数学入門講座	数学入門講座	数学入門講座	数学入門講座	数学A、数学B	
Y7 (11月24日)			物理基礎 化学基礎 生物基礎	物理基礎 化学基礎 生物基礎	物理基礎 化学基礎 生物基礎	物理基礎 化学基礎 生物基礎	物理基礎 化学基礎 生物基礎	
Y8 (12月15日)			体育②③	体育②③	体育②③	体育②③	保健 音楽Ⅰ	
							音楽Ⅰ	
			美術Ⅰ		美術Ⅰ			
			書道Ⅰ		書道Ⅰ			
				英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーションⅠ	
				英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	
			論理・表現Ⅰ		論理・表現Ⅰ			
			家庭総合 消費生活	英語入門講座 家庭総合 消費生活	英語入門講座 家庭総合 消費生活	英語入門講座 家庭総合 消費生活	英語入門講座	
			ビジネス基礎		ビジネス基礎			
			ビジネス入門講座		ビジネス入門講座			
			簿記		簿記			
					情報Ⅰ		情報Ⅰ	
							ロングタイム	

定期試験の時間割

		受験する科目に印をつけておきましょう。					
		1限 9:15~9:55	2限 10:10~10:50	3限 11:05~11:45	4限 12:40~13:20	5限 13:35~14:15	6限 14:30~15:10
前期 定期試験 9月1日		音楽Ⅰ 美術Ⅰ 書道Ⅰ 情報Ⅰ	体育② 体育③	現代の国語 国語表現 地理総合 世界史探究	言語文化 文学国語 古典探究	物理基礎 化学基礎 地学基礎 保育基礎	生物基礎 家庭総合 消費生活 フードデザイン
	後期 定期試験 1月12日						
Y試験		1限 9:15~9:55	2限 10:10~10:50	3限 11:05~11:45	4限 12:40~13:20	5限 13:35~14:15	6限 14:30~15:10
	前期 定期試験 9月8日	ビジネス基礎 ビジネス入門講座 簿記	保健	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	数学Ⅰ 数学Ⅱ	歴史総合 倫理	日本史探究 公共
後期 定期試験 1月19日	ビジネス法規 簿記		論理・表現Ⅰ 英語入門講座	数学A 数学B	数学A 数学B	政治・経済	

「国語表現」「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「書道Ⅰ」「情報Ⅰ」は後期試験をおこないません。

上記の時間割は基本となるものであり、同一時間に重複する科目がある場合などは、時間割が移動します。各自の「受験カード」に示された時間割で受験してください。

Z面接指導日の時間割

2024年度(令和6年度)

		1限 9:00~9:50	2限 10:00~10:50	3限 11:00~11:50	4限 13:00~13:50	5限 14:00~14:50
Z1 (5月7日)	S2・3教室 S4教室 大体育館		文学国語	国語表現	数学Ⅰ 数学入門講座	体育
	Z2 (5月28日)	S2・3教室 大体育館		現代の国語	総合的な探究の時間	体育
Z3 (6月18日)	S2・3教室 物理化学教室(K2教室) 多目的教室(K5教室) 大体育館	簿記	ビジネス基礎 世界史探究	ビジネス法規 消費生活	言語文化 フードデザイン ビジネス・コミュニケーション	体育
	Z4 (7月9日)	S1教室 S2・3教室 S4教室 物理化学教室(K2教室) 多目的教室(K5教室) 大体育館		倫理 公共 日本史探究	政治・経済 保健 古典探究 家庭総合	地学基礎 保育基礎 英語入門講座
Z5 (10月15日)		S1教室 S2・3教室 S4教室 物理化学教室(K2教室) 視聴覚教室(K4教室) 多目的教室(K5教室) 大体育館		情報Ⅰ	数学A・数学B 数学Ⅱ	数学Ⅰ 数学入門講座 数学Ⅱ
	Z6 (11月5日)	S1教室 物理化学教室(K2教室) 視聴覚教室(K4教室) 多目的教室(K5教室) 大体育館		情報Ⅰ	地学基礎 物理基礎 化学基礎 美術Ⅰ	化学基礎 美術Ⅰ
Z7 (11月26日)		S1教室 S2・3教室 物理化学教室(K2教室) 生物地学教室(K3教室) 視聴覚教室(K4教室) 多目的教室(K5教室) 大体育館		情報Ⅰ	ビジネス基礎 地学基礎	ビジネス・コミュニケーション 化学基礎
	Z8 (12月17日)	S1教室 S2・3教室 S4教室 物理化学教室(K2教室) 視聴覚教室(K4教室) 多目的教室(K5教室) 大体育館		情報Ⅰ	保健 公共 文学国語	言語文化 国語表現 地理総合

2024年度 NHK 高校講座 番組時刻表

■ Eテレ

※太字は新作・新番組です。

時刻	曜日	月	火	水	木	金	
午前	10:00~10:20	現代の国語 Ⅱ 公共 Ⅱ	生物基礎 Ⅱ	地理総合 Ⅱ 歴史総合 Ⅱ	英語 コミュニケーションⅠ	情報Ⅰ Ⅱ 科学と人間生活 Ⅱ	10:00~10:20
	10:20~10:30	ベーシック国語 Ⅱ	化学基礎 Ⅱ	日本史 Ⅱ	ベーシック英語	数学A Ⅱ	10:20~10:30
	10:30~10:40	数学Ⅰ Ⅱ	地学基礎 Ⅱ	世界史探究 Ⅱ	物理基礎 Ⅱ	家庭総合 Ⅱ	10:30~10:40
	10:40~10:50	ベーシック数学 Ⅱ			ベーシックサイエンス Ⅱ	10:40~10:50	
	10:50~11:00					10:50~11:00	
11:00~11:10					ビジネス基礎 Ⅱ ロドリゴのちから Ⅱ	11:00~11:10	
11:10~11:30					芸術 美術Ⅰ Ⅱ 芸術 書道Ⅰ Ⅱ	11:10~11:30	

Ⅱ：字幕放送

■ ラジオ第2

※太字は新作・新番組です。

時刻	曜日	月	火	水	木	金	土
午後	7:30~7:50		文学国語	日本史探究	英語 コミュニケーションⅢ	古典探究	仕事の現場 real
	7:50~8:10		数学Ⅱ		論理国語	倫理	政治・経済
	8:10~8:30	英語 コミュニケーションⅡ	英語表現Ⅰ	保健体育	音楽Ⅰ	言語文化	

■ インターネット / Eテレ 夏期・冬期・春期講座 (放送予定)

Eテレ	数学Ⅱ (TV) Ⅱ	(各20分)	WEB 配信	夏、冬、春期講座で 放送 (予定) ※放送日は決定次第、 ホームページでお知らせします。
	簿記 Ⅱ	(各20分)		
	総合的な探究の時間 Ⅱ	(各20分)		
	体育実技 Ⅱ	(各10分)		

■ 「夏期・冬期・春期講座」について

高校講座全体から選んだ復習のための再放送や特集などを定時の科目枠をはなれて放送します。

※テレビ、ラジオの放送日時を変更・休止することがあります。変更の場合は、ホームページでお知らせします。

レポートを提出期限までに提出する。

(学校必着)

遅滞レポート提出期限	再提出レポート提出期限
前期 7月9日(火) 16:00	後期 7月23日(火) 16:00
後期 12月3日(火) 16:00	後期 12月17日(火) 16:00

いずれもこれらの期日までに提出され、内容が合格と認められることが必要です。所定の回のレポートが合格であれば受験資格ができ、学校からは受験カードを送付します。

定期試験 (100点満点・40分間)

前期 X試験 9月1日(日)	後期 X試験 1月12日(日)
Y試験 9月8日(日)	Y試験 1月19日(日)
前期 Y試験 9月29日(日)	後期 Y試験 2月9日(日)

受験カードで指示された時間帯と教室で受験してください。
受験カードと身分証明書を持参してください。

定期試験が急な病気やケガなどを得ない理由で受験できなかった場合は、HR担任から前期9月18日(水)、後期1月29日(水)に送付される「再試験連絡票」で、時間帯と教科を確認して受験すること。

試験の得点が基準点(合格点)に達しなかった場合、学校から「追試験連絡票」を送付します。

再試験 (80点満点・25分間)

前期 再試験 9月29日(日)	後期 再試験 2月9日(日)
-----------------	----------------

再試験の時間割は別途指示します。指示された時間帯で受験してください。
学校から送付された「再試験連絡票」と身分証明書を持参してください。

追試験 (25分間で実施。合格基準は科目ごとに異なります。)

該当者には実施時間と受験教室を別途連絡します。
前期 追試験 9月29日(日)
後期 追試験 2月9日(日)
「追試験連絡票」と身分証明書を持参してください。

返却された答案は1年間大切に保管すること。確認が必要となる場合があります。

愛知県立旭陵高等学校校歌

Moderato 爽快に mp

1. さ
えう う ざとそ えう ととと そみか らずぜ はわふ れきき わやめ たまぐ りずり れせじよ

mf (生き生きと)
いいう ろしね うんつ ののの ひいひ かのお りちぎ さあみ しふな つれぎ つてる はひけ るとわ かしし

にじく もにも かめわ がぎけ やすゆ くはく きりこ ぼそう ううろ こたう こまる ろとわ ざたし しまき たみあ かがす おあひ おうの しべゆ くくめ

(たつぷりと)
ととと ももも どどど ももも ににに つつと いいい まはひ なげら ばまか むむむ

(心をこめて)
あ きよ くりょう こころのふるさと

1.2. 3.
きよ くりょう こうこう われらがぼこ う 2. と う 3. そ

愛知県立旭陵高等学校校歌

久野保佑作詞 水谷昌平作曲

一、さえずりと 空晴れわたり

玲瀧の 光さしつづ

はるかにも かがやく希望

こころざし 高く雄々しく

ともどもに 集い学ばむ

ああ旭陵 心のふるさと

旭陵高校 われらが母校

二、とうとうと 水わきやまず

清新の 生命あふれて

ひとすじに めざすは理想

玉と玉 みがきあうべく

ともどもに 集い励まむ

ああ旭陵 心のふるさと

旭陵高校 われらが母校

三、そうそうと 風吹きめぐり

情熱の 息吹きまぎる

けわしくも わけゆく行路

うるわしき 明日の日の夢

ともどもに 集い拓かむ

ああ旭陵 心のふるさと

旭陵高校 われらが母校

2024年度(令和6年度)年間行事予定表

月	日	行 事
4	7	在校生出校日・内科検診
	14	入学式
	21	新・転・編入生オリエンテーション 内科検診・1年X線・心電図
	28	X1面接指導
5	5	Y1面接指導 (離任式)
	7	z 1 面接指導→実施科目は p. 28 参照
	12	補充面接指導(体育)
	13~16	保護者個別懇談会
	19	X2面接指導
	26	Y2面接指導 (生徒総会)
6	28	z 2 面接指導→実施科目は p. 28 参照
	9	X3面接指導 (4年進路説明会)
	16	Y3面接指導 (進路学習会)
	18	z 3 面接指導→実施科目は p. 28 参照
7	30	X4面接指導 (防災避難訓練)
	7	Y4面接指導 (校内生活体験発表会)
	9	z 4 面接指導→実施科目は p. 28 参照
	13~14	夏季宿泊面接指導 (林間学校)
	23	(z 面接予備日)
8	28	(日曜面接予備日)
	9	受験資格連絡発送予定日
	25	部活動日
9	29	生徒問い合わせ日(連絡日)
	1	前期 X 試験
	8	前期 Y 試験
	15	(定期試験予備日)
	23~24	宿泊面接指導(修学旅行)
29	再試・追試	

月	日	行 事
10	6	X5面接指導 (前期試験結果連絡票配付)
	13	Y5面接指導
	15	z 5 面接指導→実施科目は p. 28 参照
	20	(日曜面接予備日)
	22	(z 面接予備日)
	27	X6面接指導
11	3	Y6面接指導
	5	z 6 面接指導→実施科目は p. 28 参照
	10	学校祭
	17	X7面接指導 (受講登録説明)
	24	Y7面接指導 (受講登録)
12	26	z 7 面接指導→実施科目は p. 28 参照
	1	(日曜面接予備日)
	3	(z 面接予備日)
	8	X8面接指導 (受講登録)
	15	Y8面接指導 (受講登録)
	17	z 8 面接指導→実施科目は p. 28 参照
1	20	受験資格連絡発送予定日
	9	生徒問い合わせ日(連絡日)
	12	後期 X 試験
	19	後期 Y 試験
2	1/31~2/1	冬季宿泊面接指導 (スノーボード学校)
	2	(定期試験予備日)
	9	再試・追試
3	16	追認指導
	16	卒業証書授与式

上記の他、一部の科目で「校外学習」を実施することがあります。
詳細は「HR 伝達」でお知らせします。(p.25 参照)

「高認による単位認定申請」締切日(必着)

高認の科目合格による単位の認定を希望する者は、必要書類を1月21日(火)までに、ホームルーム担任へ提出して下さい。(詳しくは p.16 を参照してください)

「技能審査による単位認定申請」締切日(必着)

技能審査の成果による単位の認定を希望する者は、必要書類を1月21日(火)までに、ホームルーム担任へ提出して下さい。(詳しくは p.17 を参照してください)

各レポートの提出期限は、この「生徒便覧」の「学習計画表」を見てください。

遅滞レポート提出期限(必着)

前期遅滞レポート 7月9日(火) 16:00
後期遅滞レポート 12月3日(火) 16:00

再提出・視聴記録締切日(必着)

前期再提出レポート 7月23日(火) 16:00
後期再提出レポート 12月17日(火) 16:00
視聴記録 12月17日(火) 16:00

学年・組	生徒番号	氏名